

『 笑顔でつなぐ人の和・福祉の環 』

第 I 期地域福祉実践計画

(令和2年度 ~ 令和6年度)



社会福祉法人興部町社会福祉協議会



赤い羽根共同募金

目 次

第 1 章 計画の概要	2P
第 2 章 現状と課題	3P
第 3 章 計画の基本的な考え方	4P
第 4 章 計画の展開	5P
基本目標1. 『 つながり、支え合うまちづくり 』.....	5P
基本目標2. 『 安心して暮せるまちづくり 』	10P
基本目標3. 『 地域福祉を担う、ひとづくり 』	16P
基本目標4. 『課題に柔軟に対応し、解決していくための組織づくり 』 ..	19P
資料編	23P
(1)地域福祉実践計画 策定委員会運営要綱	24P
(2)策定委員会名簿	26
(3)みんなの暮らしを良くする住民アンケート結果	27P

第1章 計画の概要

1. 計画策定の背景と目的

近年、我が国において、急速に少子高齢化が進んできており、孤独死や高齢者が高齢者を介護する老老介護問題、食事を満足にとれない子供の顕在化による貧困問題、働いても生活が出来ないサイレントプア等の社会問題が顕在化してきています。

わが町においても、高齢化率が32%と高くいわゆる高齢化社会という現状がございます。その影響もあり、自治会の担い手の不足、民生児童委員の不足、ボランティアの不足等、地域の見守りを行う人材の不足が深刻になってきております。そこで、私達、興部町社会福祉協議会(以下、興部社協)ではその現状をふまえて、地域の福祉課題に対して、住民が安心、安全に暮らせるように、興部社協が具体的に取り組む事項を示した地域福祉実践計画を策定することとしました。本計画を通じて、『行政や関係機関との協力による公助』『自治会や地域との協力による共助』『住民同士の相互扶助による自助』による連携、関係性を大切にして、興部社協は「笑顔でつなぐ人の和・福祉の環」を目指します。

2. 地域福祉とは

地域福祉とは、公的な福祉サービスだけでは対応できない、問題や課題に対して地域に住んでいる住民同士のつながりを大切にし、お互いに協力し合える関係や仕組み作りのことをいいます。地域には、子どもから高齢者と老若男女と色々な住民が暮らしています。暮している住民がその地域で安心して心豊かに暮らすための仕組みづくり、

また、その仕組みを持続していくことが重要になってきます。その為には、さまざまな生活課題にたいして、住民一人ひとりの努力(自助)、住民同士の相互扶助(共助)、公的な制度(公助)の連携により解決していく仕組みが必要となってきています。こうした背景には、地域には様々な個性を持った人がくらしています。そういった人たちがお互いに協力し合いながら、困難を乗り越えたり、お互いの不足を補い合いながら地域社会をつくるという事が前提となっております。

3. 計画期間

本計画の策定期間は、令和2年度から令和6年度までの5か年計画となります。



4. 策定体制

(1) 策定委員会による審議

興部社協の理事・評議員あわせて5名で構成した「興部町地域福祉実践計画策定委員会」を設置し、計画に係る審議を行いました。

◆◆ 策定委員会の開催状況 ◆◆

とき	会議の名称及び内容
令和元年10月21日	第1回策定委員会 ・タイムスケジュールについて ・基本骨子について ・地気福祉実践計画に向けたアンケートについて
令和2年2月7日	第2回策定委員会 ・アンケート結果について
令和2年3月2日	第3回策定委員会 ・地域福祉実践計画について

(2) アンケート調査による町民のニーズの把握

町民のニーズを把握し計画に反映させるため、「みんなの暮らしをよくするための住民アンケート」を実施しました。

◆◆ 「みんなの暮らしをよくするための住民アンケート」の概要 ◆◆

対象者	興部町民
配付数	1,610枚
回収数(回収率)	500枚(31.1%)
実施期間	令和元年11月14日～令和元年11月29日
配布・回収方法	自治会会長・班長様のご協力を頂きながらアンケート用紙の配付、回収を行う

第2章 現状と課題

1.社協の現状と課題

・現状の興部社協では

昭和26年に任意団体として設立、昭和61年7月21日に法人認可を受け、同年8月5日に法人設立をおこなっております。町民や関係機関に支えられながら今日まで至っております時代の様々なニーズに対応しながら、時代に即した事業を行っております。

今日も、住民の皆様の福祉を支えるため事業として、「在宅給食事業」「在宅ライフサポート」町民の相互連携として「自治会福祉福祉活動事業」、地域福祉の担い手の育成として「ボランティア普及事業」、住民の生活援助としての「応急援護資金事業」「心配ごと相談事業」高齢者分野として「興部社協デイサービス事業」、「興部町社協ホームヘルプサービス事業」「高齢者生活支援ハウス」をおこなっております。

・地域課題として

興部町においても、高齢化率が32%となっており少子高齢化の影響が出てきており、今回の調査では高齢者福祉の問題や若い世代に対する福祉問題が出てきている。高齢者分野では、買い物不便さ、病院までの交通不便さが出ており、交通手段である車の重要性、手放せない現状が浮き彫りになりました。また、高齢者が増えている現状から安否確認の必要性、見守りの必要性が改めて重要である再確認の結果になりました。

若年者世代においては、若い世代に向けた取り組みが少ないので若い世代にも目を向けて取り組みを行なって欲しいという意見、子育てをしている家庭に対して子育て支援をして欲しいという結果も出ました事から若い世代に対しても支援の輪を広げていく必要があると考えます。地域内におけるコミュニティにおいては、知らない人が多いため参加しづらい等の意見もあった事から鑑み、住民同士の付き合いが希薄化してきているのではないかと考えます。また、福祉に関する情報にしても、どこに聞けばいいか解らないや情報窓口が多すぎてわからないという意見がある反面、社協からや社協広報から情報を仕入れているという人が多いことから社協の情報発信窓口としての役割は重要になってきていると考えます。

最後に、今回の調査でわかった事に対して、社協が何ができるのか考えて、行動していくことが大切であり、また、情報発信の場として社協の存在感を高めていく必要があると考えます。

第3章 計画の基本的な考え方

1.基本理念

みんなでつなぐ「心」「夢」「想いやり」のあるまちづくり

○ 基本目標 1 『 つながり、支え合うまちづくり 』

地域の資源を活用し、住民同士の繋がりを強化、支え合う体制を構築し暮らしやすいまちづくりを目指します。

○ 基本目標 2 『 安心して暮せるまちづくり 』

住民誰もが、安心して暮せるようサービスの質の向上、提供をおこない長く住み慣れた地域で暮らせるまちづくりを目指します。

○ 基本目標 3 『 地域福祉を担う、ひとづくり 』

地域福祉推進のため、ボランティアや福祉協力者を発掘、育成をおこない、地域福祉課題、の発見、解決のためのひとづくりをめざします。

○ 基本目標 4 『 課題に柔軟に対応し、解決していくための組織づくり 』

福祉のまちづくりを推進していくため、社協の財源確保や組織強化をおこない、地域福祉の推進を目指します。

第4章 計画の展開

基本目標1.『 つながり、支え合うまちづくり 』

・ 現状と課題

本町でも、少子高齢化の問題は起きており、また、単身や夫婦のみの世代が増えてきている様であり、地域と住民の付き合いや住民と住民との付き合いも希薄になってきているように思います。そこで課題となってくるのが、地域からの孤立による問題、孤独死、老老介護とかが出てくるのではないのでしょうか。地域との関わりが少ない所以に、本人に情報が入らない、または、地域から孤立をしない様に考えていく必要があります。そのためにも地域と協力関係の強化、人とのつながりの強化が大切だと思います。

・ 事業名と展開

○ 自治会福祉活動普及事業

目的：自治会・自治会福祉委員と協力し、定期的な見守り等への情報提供地域の交流会の支援を行い地域のつながりの強化を行う。また、地域の課題やニーズの把握を行い地域から孤立する事のない地域づくりを目指す。

・ 福祉委員活動推進会議



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
自治会長、自治会福祉委員と協力し、情報の交換等を行う事により地域で孤立している人を少なくする。	継続	継続	継続	継続

・たすけあい活動推進事業



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
自治会内の交流会や研修等に助成を行ない自治会内交流の促進を図る。	継続	継続	継続	継続

・たすけあい活動推進研修会



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
福祉につながる研修会を開催する事により、地域福祉に関する関心を高める。	継続	継続	継続	継続

・レクリエーション道具の貸し出し



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
レクリエーション道具の貸し出しを行い、地域交流の手助けを行う。	継続	継続	継続	継続

・ふまねつと事業



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
ふまねつと事業をとおして、健康の維持、参加者同士の交流を深める。	継続	継続	継続	継続

○ 在宅給食サービス事業

目的：毎週木曜日に町内飲食店様のご協力を得て作られた給食を利用者のご自宅まで配食安否確認を含めて配達いたします。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
利用者の安否確認、家事負担の為に実施。より広く住民に知っていただく為広報等を通してPRを行う。	継続	継続	次年度計画に向けた調査を行い、問題点や改善点の精査を行う	計画策定に向けて、事業の見直しを行い、より良い事業を目指す。

○ 在宅ライフサポート事業

目的： 町内在住の介護を行なっている世帯に対して
介護負担、経済的負担軽減の為、介護用品の
支給を行います。



年度計画と展開

R2

利用者の介護
負担、経済的負
担の軽減を行
います。より、町
民に利用又は知
っていたいた
く為、広報やHP

R3

利用者にと
つて、利用し
やす方法を
模索し、利
用条件等
を検討する。

R4

町民への認
知度の上昇
を目指し、
PR方法を
検討、実
施して
いく。

R5

次年度の計
画策定に向
けて、調査
を行い、改
善点の洗い
出しを行
う。

R6

実践計画策
定に向けて、
問題点の改
善等を図
り、事業内
容の向上を
図る。

○ 和やかふれあいタウン事業(地域交流活性化事業)

目的： 住民同士の交流会やイベント行事などに活
用していただき地域交流の活性化を図ると
ともに、地域での知り合いをつくる切っ掛け
の一つなる事業となります。



年度計画と展開

R2

広報、HPによる
周知、認知度
の向上を図
る。

R3

機材を増やし、
さらなる充実
を目指す。ま
た、それら
を含めて周
知を行い地
域への定着
を図る。

R4

実際にイベ
ント等で稼
働している
写真を使
い、PRを行
う。

R5

次年度に向
けて、使用
状況や感想
等の調査
を行う。

R6

計画策定に
向けて、調
査をまとめ
、調整を
する。

○ みんなDeゆずりあい事業(新規)

目的：今まで大切に使っていた品物(杖、チャイルドシート等)を使用しなくなった為、譲りたい。今、こういうのが必要だが手に入らない人等を結ぶ事業なり、思い出の継承や心と心を結ぶ事業となります。



年度計画と展開

R2

事業開始に向けて周知を行う。物品が走り次第、広報やHP上に公開を行い、マッチングを行って行く。

R3

事業の住民への認知度の向上を図り、地域への更なる定着を図る。

R4

2年間の実績を基に、課題や問題点の洗い出しを行い、利用頻度の向上、使い易さの向上を目指す

R5

次年度の計画に向けての調査を行い、課題や良かったところ等の情報収集を含めた、調査を行う。

R6

事業計画作成に向けて、問題改善や見直しをして更なる事業の強化を図る。

○ 興部町除雪サービス事業(町連携事業)

目的：高齢者や障害者等の世帯が、冬期間においても安心して快適に生活が出来る様に自力で除雪が困難な世帯に対し、地域において除雪体制の構築を図るとともにこれらの世帯の除雪に要する経費に対して援助を行い、在宅生活を支援をすることを目的とする。



年度計画と展開

R2

町と協議をしながら実施していく

R3

町と協議をしながら実施していく。

R4

町と協議をしながら実施していく。

R5

町と協議をしながら実施していく。

R6

町と協議をしながら実施していく。

基本目標2. 『 安心して暮せる町づくり 』

・ 現状と課題

安心して暮していける町づくりとしては、やはり町民が生活をしていく上で必要な制度などが身近にあることや情報を仕入れる先が解ることではないでしょうか。本町においてもアンケート調査を通じてわかってきた事は、買い物や日常生活が不便や交通が不便であるなど生活に直結した所が困っている住民や相談を行う場所が解らない、相談窓口を増やして欲しいなどの意見がありました。その事から社協が何をすべきかを考え実施していくのが大切になるのではないでしょう。社協で行なっております心配ごと相談等の住民に係る事業を充実させていき住民が安心して生活できるようにしていきます。

・ 事業名と展開

○ 心配ごと相談事業

目的：町民が地域で暮らしていく上で、抱えている悩みや問題を相談していただき、解決のために適切な機関の紹介、制度の紹介を通じて解決の為の手助けを行う。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
社協が、問題や悩みに対しての相談窓口を行なっている事を住民に周知、認知度の向上を図る。	広報やHP上での周知を図ったり、相談しやすい様に工夫をする。	継続	次年度、計画策定に向けて、認知度や問題点の調査、洗い出しを行う。	前年度の調査結果を基に、事業のさらなる。

○ 応急援護資金事業

目的：生活が困難な興部町民に対して、自立に必要な資金の貸し出しを行い日常生活の再建生活基盤の再構築を手伝う事業となります。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
継続	継続	継続	継続	継続

○ 生活福祉資金貸付事業(北海道社会福祉協議会委託事業)

目的：道社協からの委託事業になり、低所得者世帯などに対して、低利または無利子での資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、経済的自立や生活意欲の情緒促進、在宅福祉や社会参加を図り、その世帯の安定した生活の確保を目的にする。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
継続	継続	継続	継続	継続

○ 戦没者遺族対策事業(町連携事業)

目的：本町出身の戦没者の御霊に対し、追悼の誠を捧げるとともに、これら戦没者の犠牲の上にもたらされた平和への誓いを新たにすることを目的に事業協力を行う。

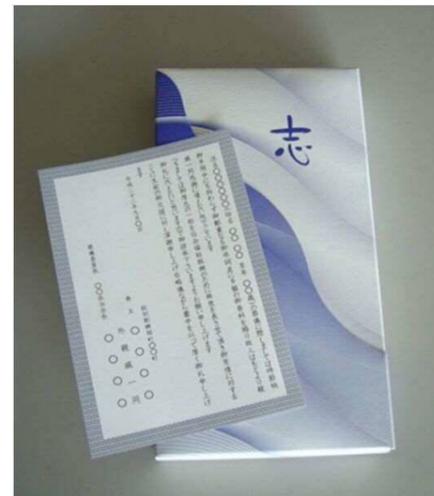


年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
町と協議をしながら実施していく。	継続	継続	継続	継続

○ 葬儀支援サービス事業

目的：全町民に対する追悼の意を表するとともに、親族または、自治会等の負担の軽減を図る事業となります。



年度計画と展開

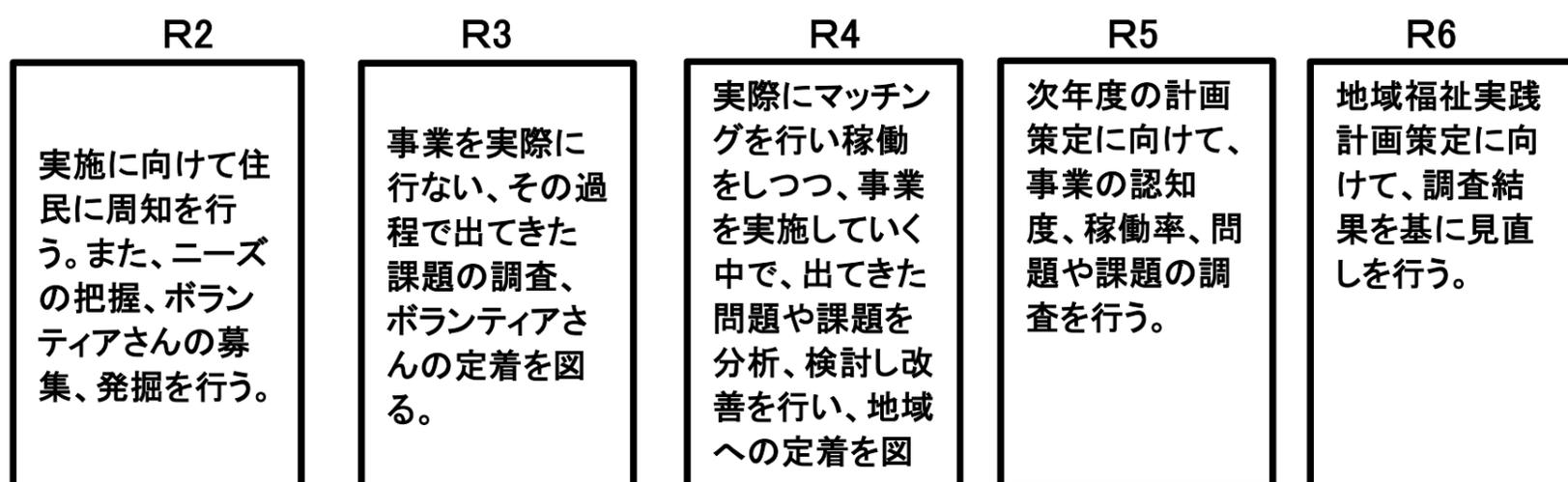
R2	R3	R4	R5	R6
社協では、こういう支援もやっていますとPRしていく。	継続	継続	継続	継続

○ ハートコール事業(新規)

目的：一人暮らしや夫婦世帯で生活している方の中で、生活に心配な方を対象にボランティアさんと協力しながら月1回程度電話にて安否確認を行ない、不安の軽減や地域からの孤立をなくす事業になります。



年度計画と展開

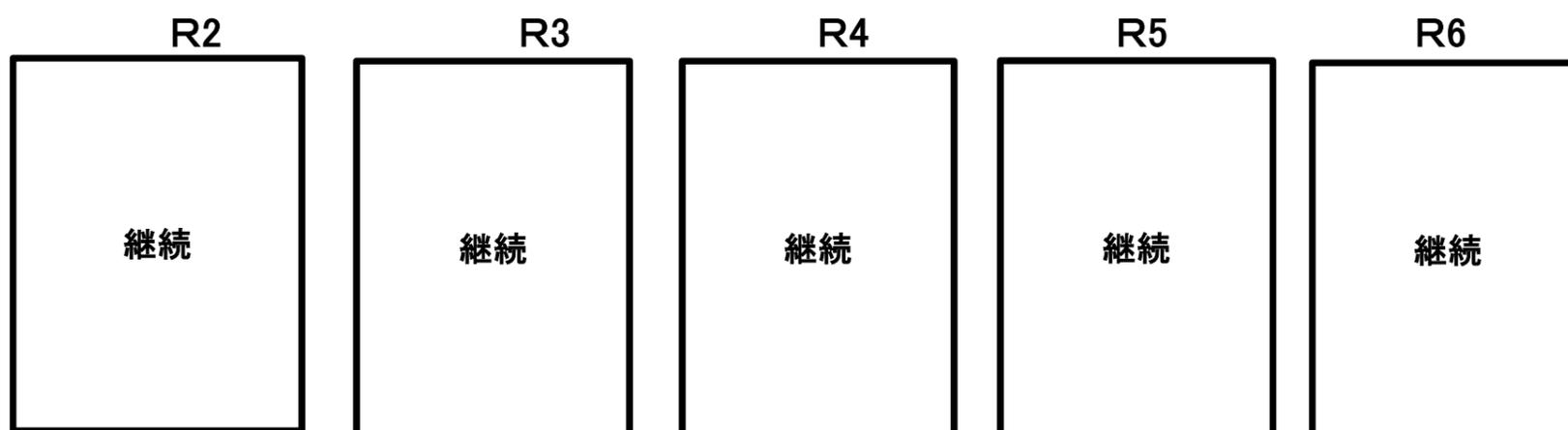


○ 福祉活動助成事業

目的：町内で活動をしてい福祉団体の活動を助成し、活動をより円滑に進めていただく事を目的に行う。



年度計画と展開



○ 歳末たすけあい事業

目的： 新たなる年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮すことが出来るよう住民の参加や理解を得てさまざまな福祉活動を重点的に展開するものへの協力を行う。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
事業内容を検討しながら、町民に喜ばれる事業を目指す。	継続	継続	継続	継続

○ 福祉サービス利用援助事業(北海道社会福祉協議会委託事業)

目的： 地域で生活をする上で、判断能力に不安のある高齢者等が、安心して住み慣れた地域で生活が送れるよう、福祉サービスなどの利用手続きや日常的金銭管理等を援助する。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
住民に向けて、事業のPRを行い、地域に在ながらの生活の手助けを行う。	継続	継続	継続	継続

○ 福祉相談・金銭管理支援事業

目的：福祉サービス利用援助事業で対象外の方を対象に、住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、福祉サービス利用の手続きや日常的な金銭管理等を援助する事業となります。



年度計画と展開

R2

興部社協で行なっている事業としてPRをおこない、制度対象外の方の手助けを行う。

R3

地域定着に向けて、広報やHPを使用し事業のPRを図る。

R4

継続

R5

次年度に計画策定に向けた調査を行う。

R6

実践計画策定に向けて、調査結果を基に洗い出しを行う。

基本目標3. 『地域福祉を担う、ひとづくり』

・現状と課題

地域福祉を考えていく上で、地域福祉を支えてくれる人たちが重要になってくると思います。例えば、ボランティアさんだったり、ご近所の人だったするのではないのでしょうか。または、これから地域の担い手になる若い世代ではないのでしょうか。今回の社協のアンケート調査でも、ボランティアをやったことが無い人が多いという結果になりました。ただ、地域福祉活動に興味があると答えてくれた人の割合が多い事から、興部町には地域福祉を担う人が眠っていると考えられます。此処では、いかにそういう人たちを発掘し、みんなで盛り上げて行けるかが大切になってくると思います。

・事業名と展開

○ ボランティア普及事業

目的：興部町におけるボランティア活動の推進、活動者の育成、発掘を行い、ボランティアを行う土壌づくりをおこないます。



年度計画と展開

R2

ボランティアの普及、啓発の為、ボランティアに関する情報発信などを行い、町民に、社協でボランティアを行なっているという認知度の上昇を行う。

R3

更なる認知度の向上を目指して、広報、HPを利用してのPR、運営委員会でPR方法を考えていく。

R4

継続

R5

次年度、計画策定に向けて調査を行い、課題などを精査していく。

R6

地域福祉実践計画策定に向けて、調査から見てきた課題などを含めて、改善を行いより良い事業にしていく。

○ ちょこっとボランティア(新規)

目的：ボランティアさんが、空いてる時間等で困っている人(ゴミ捨て、電球交換等)をちょこっと手助けをおこなうボランティアになります。



年度計画と展開

R2

実施に向けて住民に周知を行う。また、ニーズの把握、ボランティアさんの募集、発掘を行う。

R3

実施に向けて住民に周知を行う。また、ニーズの把握、ボランティアさんの募集、発掘を行う。

R4

実際にマッチングを行い稼働をしつつ、事業を実施していく中で、出てきた問題や課題を分析、検討し改善を行い、地域への定着を図

R5

実際にマッチングを行い稼働をしつつ、事業を実施していく中で、出てきた問題や課題を分析、検討し改善を行い、地域への定着を図

R6

地域福祉実践計画策定に向けて、調査結果を基に見直しを行う。

○ 子ども映画祭事業(新規)

目的：これから大人になっていく子供たちの思い出づくりを行なうと同時に、福祉に興味を持って貰う切っ掛けづくりを行なう。また、親子で来ていただく事により親同士の交流、世代間交流をおこなう事業になります。



年度計画と展開

R2

事業の周知を広報、HP等でおこない、実施する。実施と同時に次回以降の運営のお手伝いをしてくれる方の募集を行う。

R3

前年実施の際の問題点等の改善を行い、地域への定着化を図る。

R4

より定着が出来る様に実施の時期を探っていく、参加しやすい事業を目指す。

R5

次年度の計画策定に向けて、課題や利用状況の調査を行う。

R6

地域実践計画策定に向けて、事業の改善点や、利用状況、評価されたところ等を踏まえて計画策定をして行く。

○ 福祉学習事業

目的：福祉に関する講義(高齢者義疑似体験等)を通じて、住民に福祉について知っていただき福祉について考えてもらったり、担い手になっていただく切っ掛けをつくる事業となります。



R2

福祉が身近なものであると町民に知っていただく為の方策の1つとして、福祉学習の実施をおこなう。

R3

町民に幅広く知っていただく為に、福祉学習を実施している場面等を広報に載せたりしてPRを行う。

R4

更なる地域への定着を図る為、PRを行う。

R5

次年度計画策定の為に調査をおこなう。

R6

調査結果を基に、精査を行いより良い事業にしていく。

基本目標4. 『課題に柔軟に対応し、解決していくための組織づくり』

・現状と課題

興部町社会福祉協議会には、様々な役割が期待されていると思います。今回のアンケート結果につきましても、情報の発信や福祉活動の担い手として期待されている結果となりました。その事から、地域福祉の推進の担い手として、住民に向けた福祉の情報の発信、事業の推進を通して、地域課題に対して柔軟な対応して、解決していくための組織づくりを行ないます。

・事業名と展開

○ 社協広報事業

目的： 広報を通じて、社協がどんな活動を行なっているか住民に知っていただくと共に、町民に対して、福祉に関する情報を発信していく。



年度計画と展開

R2

興部町社会福祉協議会をもっと知っていただく為に、見やすく、読み応えのある情報発信をおこなう。

R3

広報の中身について、より良くするために改良を行いつつ、福祉の情報を発信してしていく。

R4

見やすい広報を目指して、更なる改善を図っていく。

R5

計画に策定に向けて、改善点や問題汚点等の精査をおこなう。

R6

計画策定に向けて、出てきた課題に対して完全策を盛り込んでより良い広報づくりを目指す。

○ ホームヘルプサービス事業

目的：自立して安心した在宅生活を送れる様に、事業所の介護福祉士や訪問介護研修修了者が高齢者宅に訪問し、援助を致します。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
町民が安心して使えるサービスを目指す。	継続	継続	継続	継続

○ デイサービス事業

目的：安心・安全・居心地のいい場所にするため、常に「思いやり」や「やさしさ」のある、ご利用者様の立場に立ったサービスの提供に務めます。介護計画に基づいたサービスを通して、利用者様やご家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
町民が安心して使えるサービスを目指す。	継続	継続	継続	継続

○ 障害福祉サービス事業

目的：利用者様が、安心して在宅生活を送れるよう事業所の介護福祉士や訪問介護研修修了者が自宅に訪問し、援助の提供をいたします。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
町民が安心して使えるサービスを目指す。	継続	継続	継続	継続

○ 生活支援ハウス事業

目的：高齢者の方が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援いたします。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
町民が安心して使えるサービスを目指す。	継続	継続	継続	継続

○ TEAM防災おこっぺ事業(災害基金事業)(新規)

目的：あらゆる災いに対して、みんなで一丸となり協力、対策が出来るよう準備を進めて行きます。



年度計画と展開

R2	R3	R4	R5	R6
災害に対して、マニュアル整備や備品の整備などをおこなう。	継続	継続	継続	継続

資料編



社会福祉法人 興部町社会福祉協議会
地域福祉実践計画 策定委員会運営要綱

社会福祉法人 興部町社会福祉協議会 地域福祉実践計画策定委員会運営要綱

(目的)

第1条 本会の地域福祉実践計画策定に際し、広く町民からの意見・提案等を求め、これらの計画に反映させるため地域福祉実践計画策定委員会（以下、「策定委員会」という。）を運営する。

(委員会の機能)

第2条 委員会は、地域福祉実践計画策定に向けて協議、検討を行ない策定する。

(委員の構成)

第3条 運営委員会は、5名程度をもって構成し、社協会長（以下「会長」という。）が委嘱する。

(委員長)

第4条 委員会に委員長1名を置く。

2 委員長は、委員の互選による。

3 委員長は、委員会を代表し会務を総括する。

(任期)

第5条 委員の任期は、計画の策定完了時までとする。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じ委員長が招集し、その議長となる。ただし、最初の策定委員会は、会長が招集する。

(報告)

第7条 委員会は、地域福祉実践計画を策定したときは、会長に報告をするものとする。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、社協事務局において行う。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(付則)

この要綱は、令和元年8月26日から施行する。

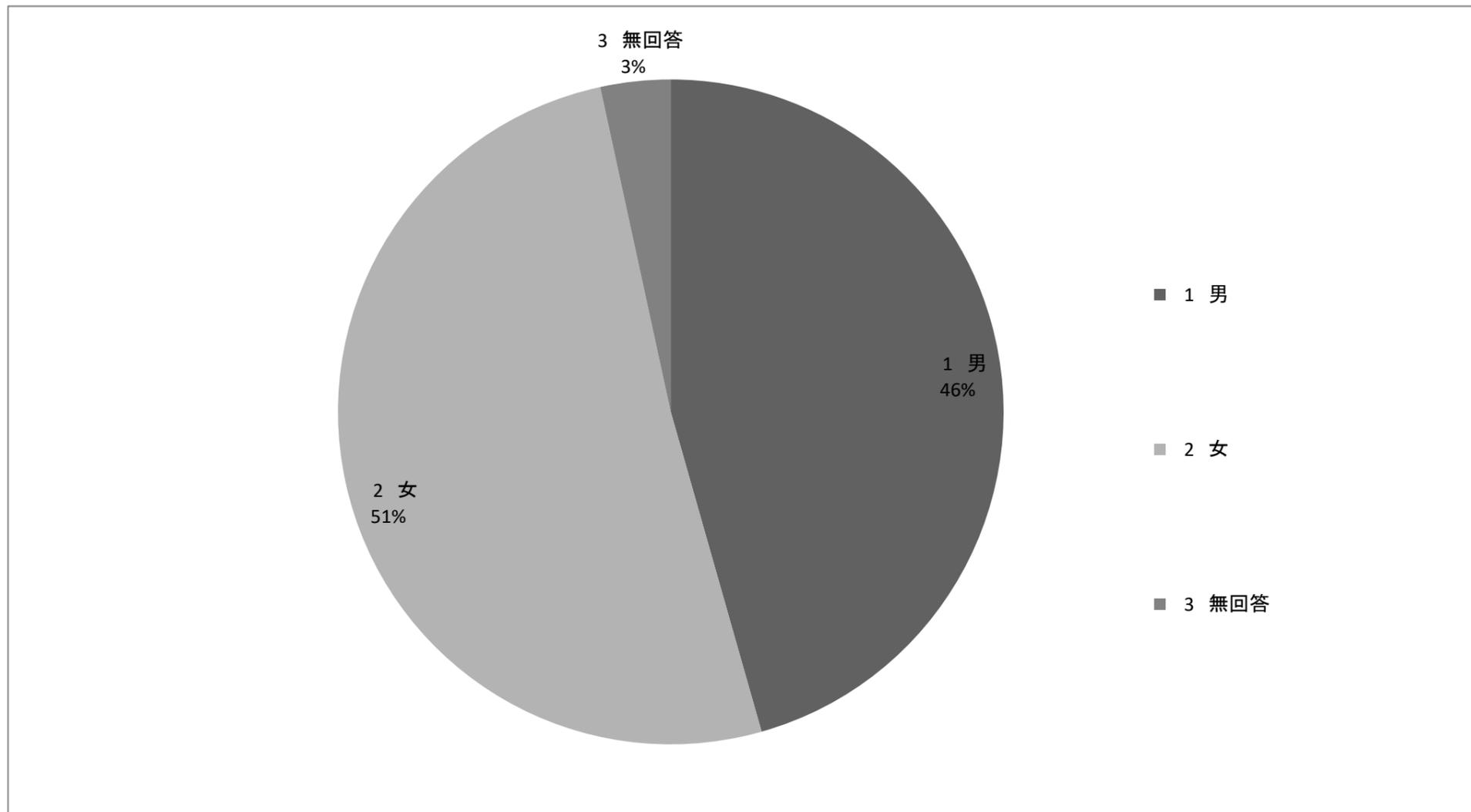
策定委員 名簿

NO	所属団体	氏名
1	社協理事	菅原 博
2	社協理事	小浜 勝廣
3	社協理事	森田 博寿
4	社協評議員	大石 彰
5	社協評議員	大澤 重光

○あなたについて基本的なことについて質問します。

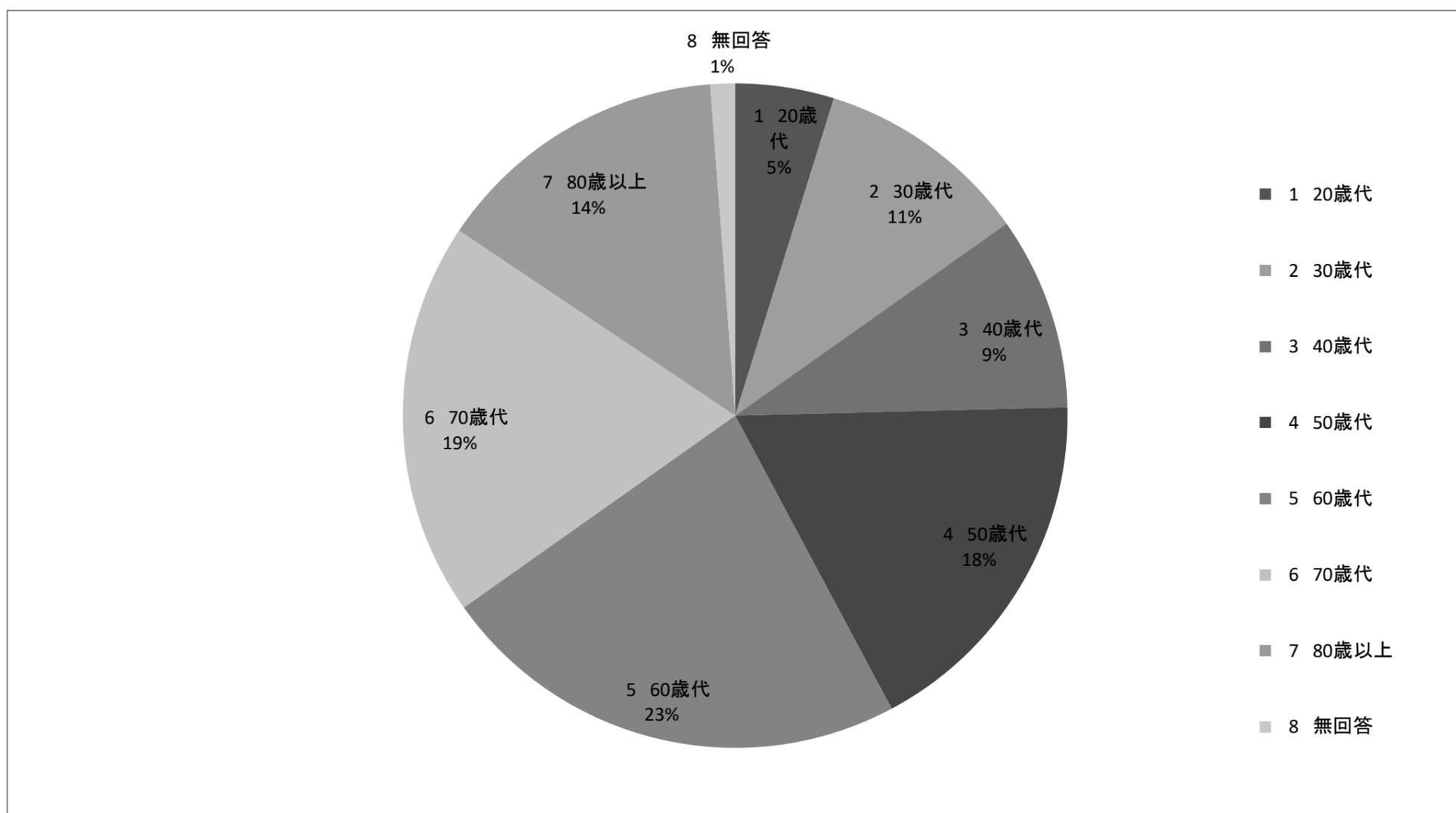
問1.あなたの性別はどちらですか。

1 男	228	46%
2 女	255	51%
3 無回答	17	3%



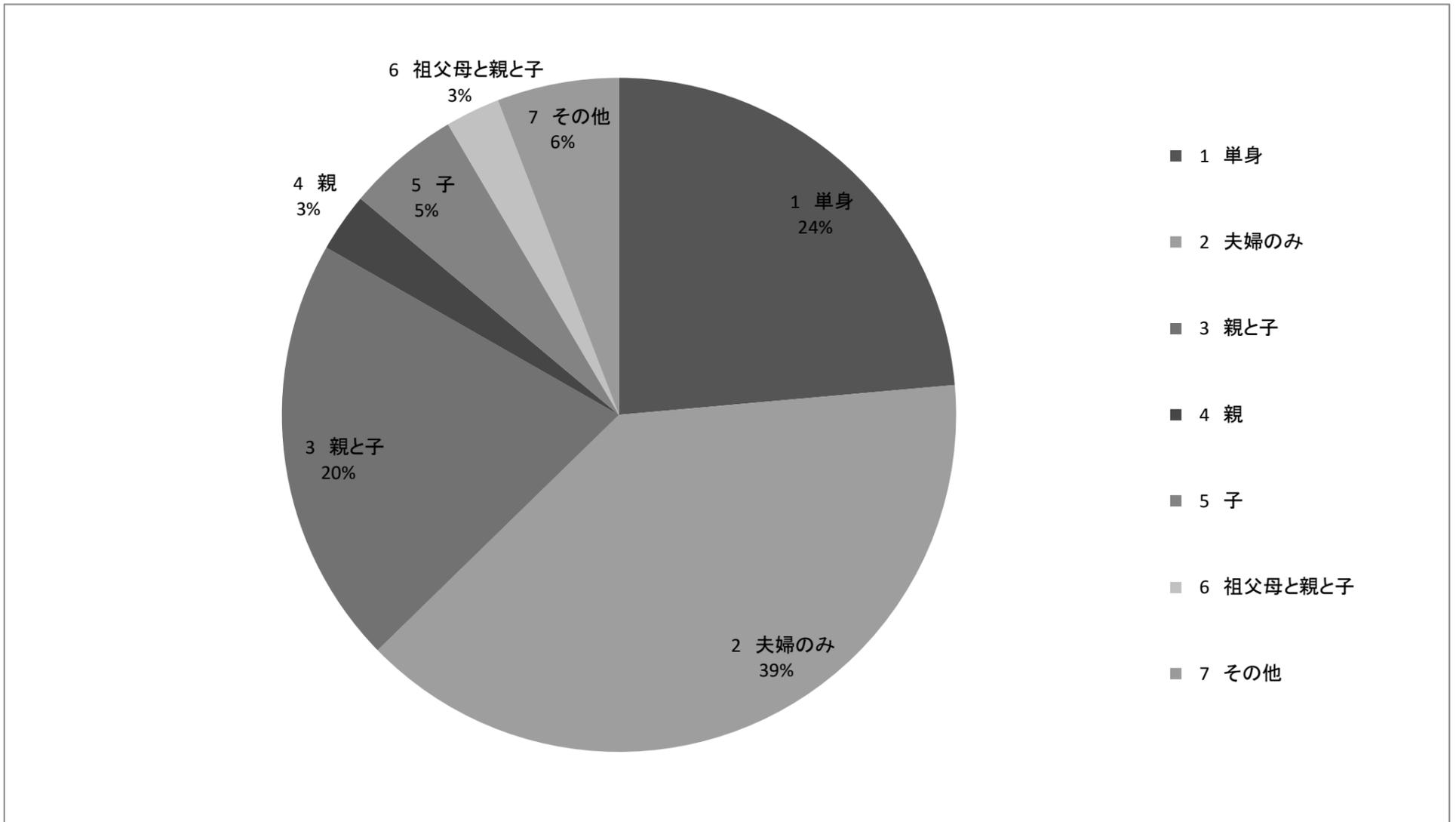
問2.あなたの年齢は何歳ですか。

1 20歳代	24	5%
2 30歳代	52	10%
3 40歳代	47	9%
4 50歳代	88	18%
5 60歳代	115	23%
6 70歳代	96	19%
7 80歳以上	72	14%
8 無回答	6	1%



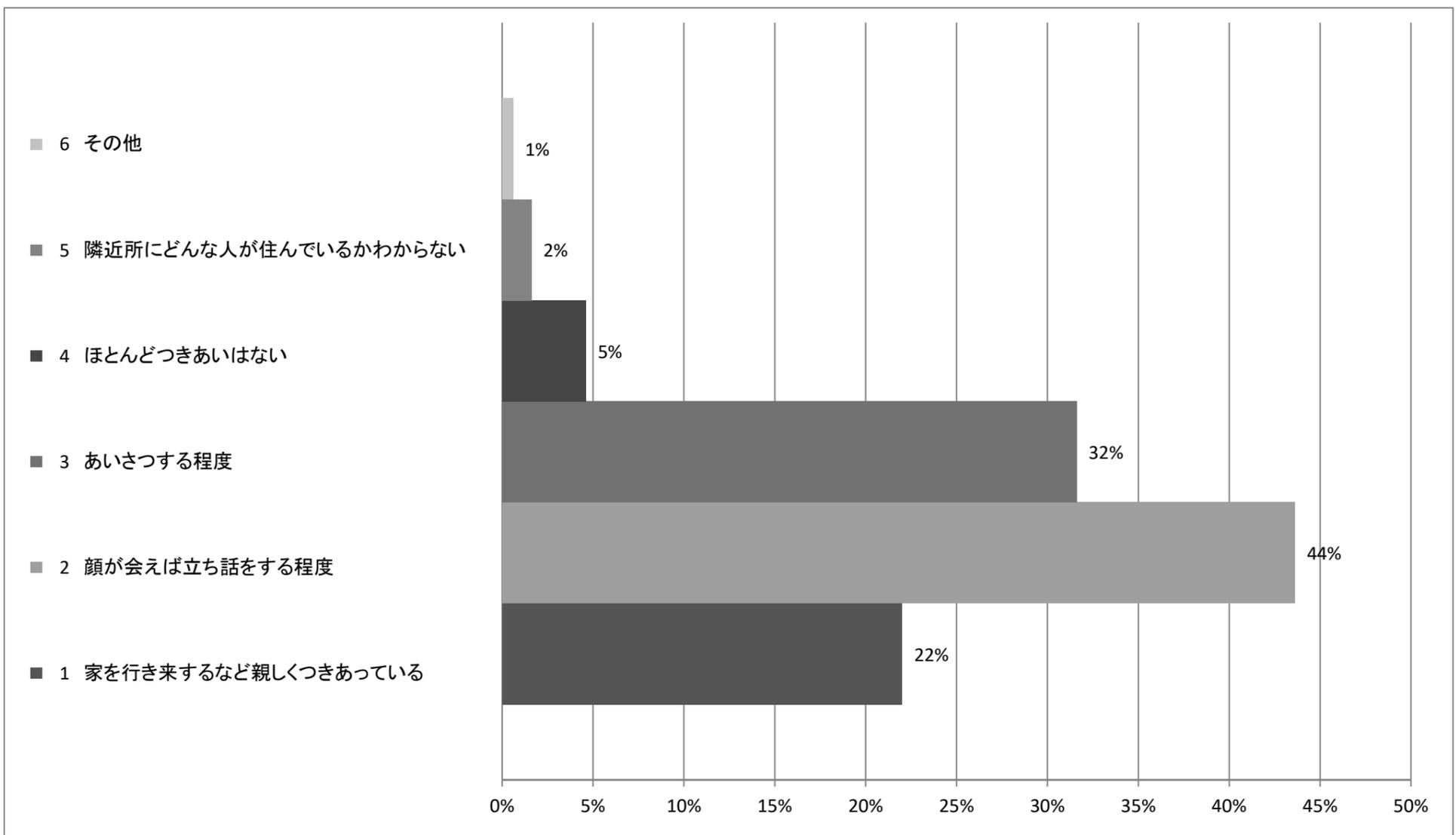
問3.あなたが、現在同居されている家族構成は次のどれですか。

1 単身	117	23%
2 夫婦のみ	194	39%
3 親と子	102	20%
4 親	14	3%
5 子	27	5%
6 祖父母と親と子	13	3%
7 その他	29	6%



問4.あなたは、ふだん近所の方との程度お付き合いをしていますか。

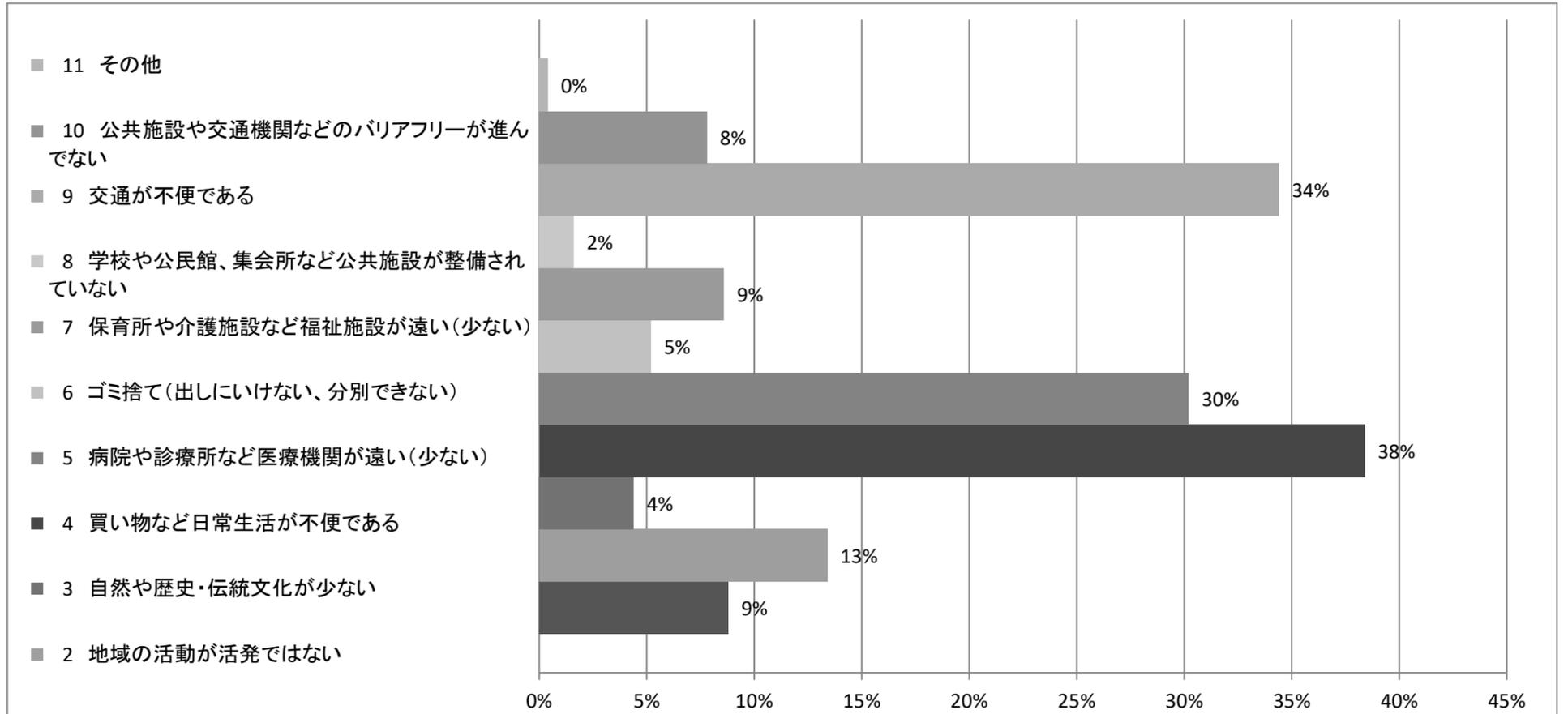
1 家を行き来するなど親しくつきあっている	110	22%
2 顔が会えば立ち話をする程度	218	44%
3 あいさつする程度	158	32%
4 ほとんどつきあいはない	23	5%
5 隣近所にどんな人が住んでいるかわからない	8	2%
6 その他	3	1%



問5.あなたのお住いの地域で、”気になるところ（不安や不満等）”はありますか。

(○は3つまで)

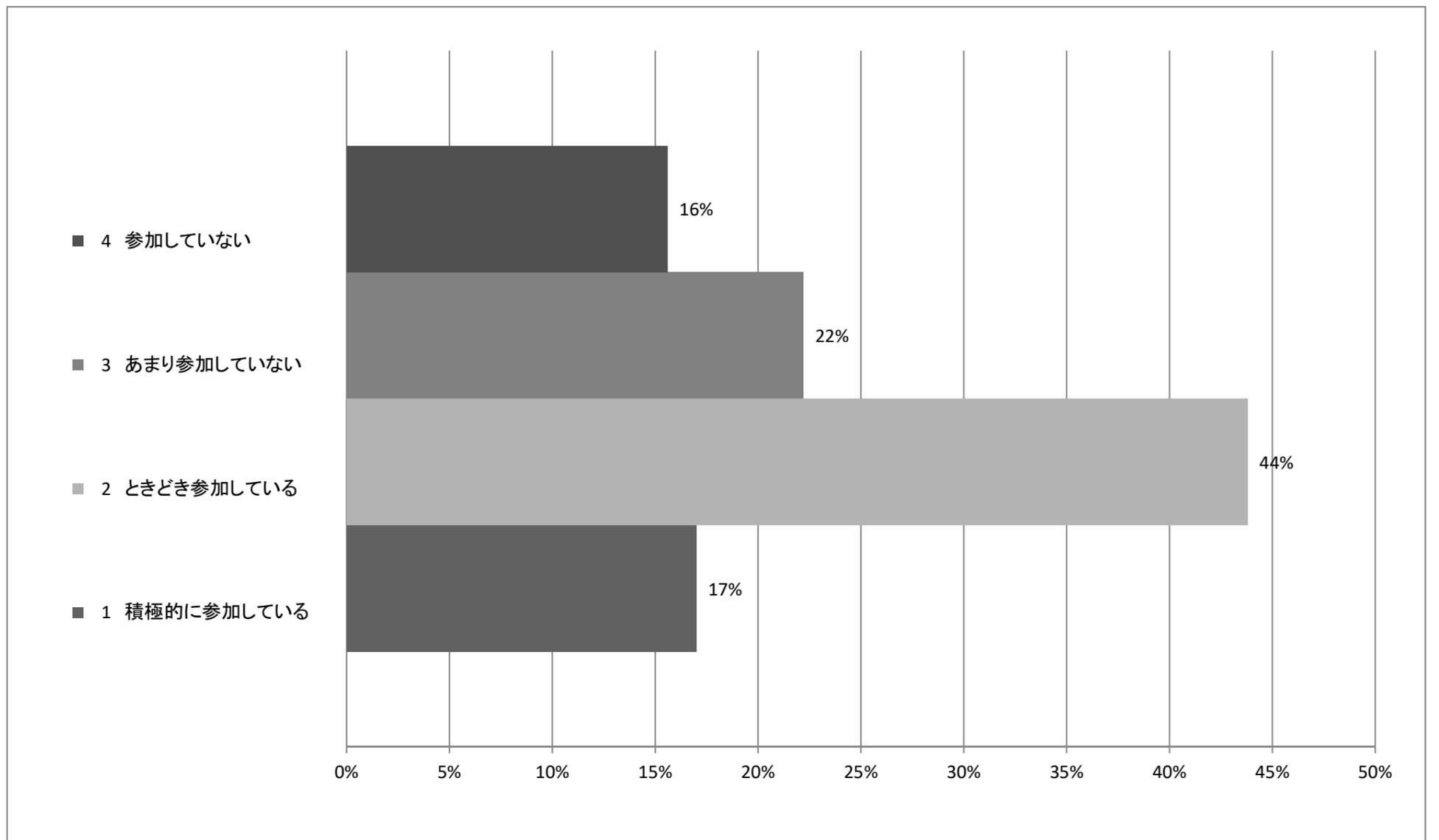
1 住民間のコミュニケーションがとりにくい	44	9%
2 地域の活動が活発ではない	67	13%
3 自然や歴史・伝統文化が少ない	22	4%
4 買い物など日常生活が不便である	192	38%
5 病院や診療所など医療機関が遠い（少ない）	151	30%
6 ゴミ捨て（出しにいけない、分別できない）	26	5%
7 保育所や介護施設など福祉施設が遠い（少ない）	43	9%
8 学校や公民館、集会所など公共施設が整備されていない	8	2%
9 交通が不便である	172	34%
10 公共施設や交通機関などのバリアフリーが進んでない	39	8%
11 その他	2	0%



○あなたの地域活動、地域福祉活動への参加についておたずねします。

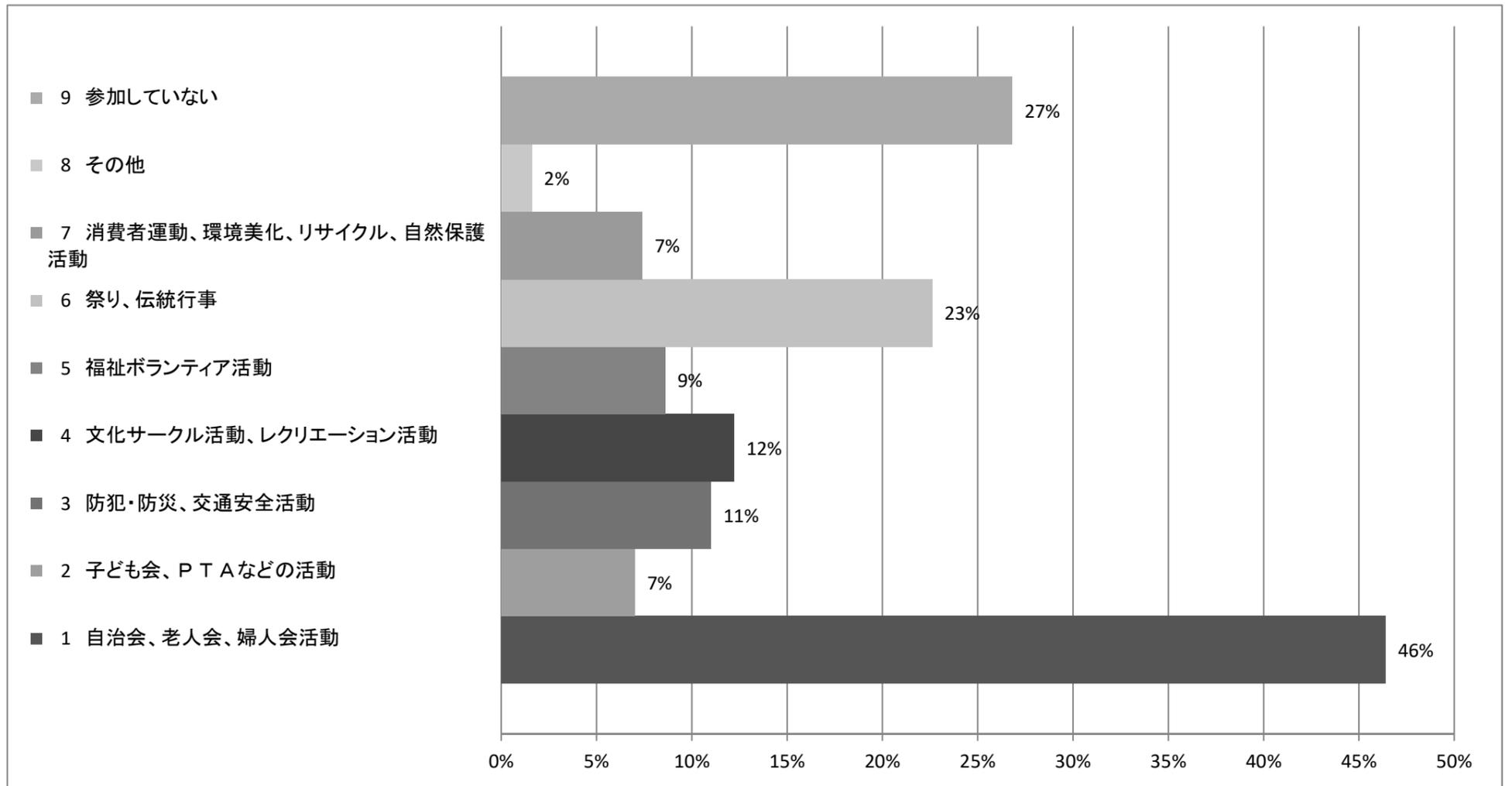
問6.あなたは、地域の行事や活動にどの程度参加していますか。

1 積極的に参加している	85	17%
2 ときどき参加している	219	44%
3 あまり参加していない	111	22%
4 参加していない	78	16%



問7.あなたは、ふだん地域のどのような活動をしていますか。(複数回答可)

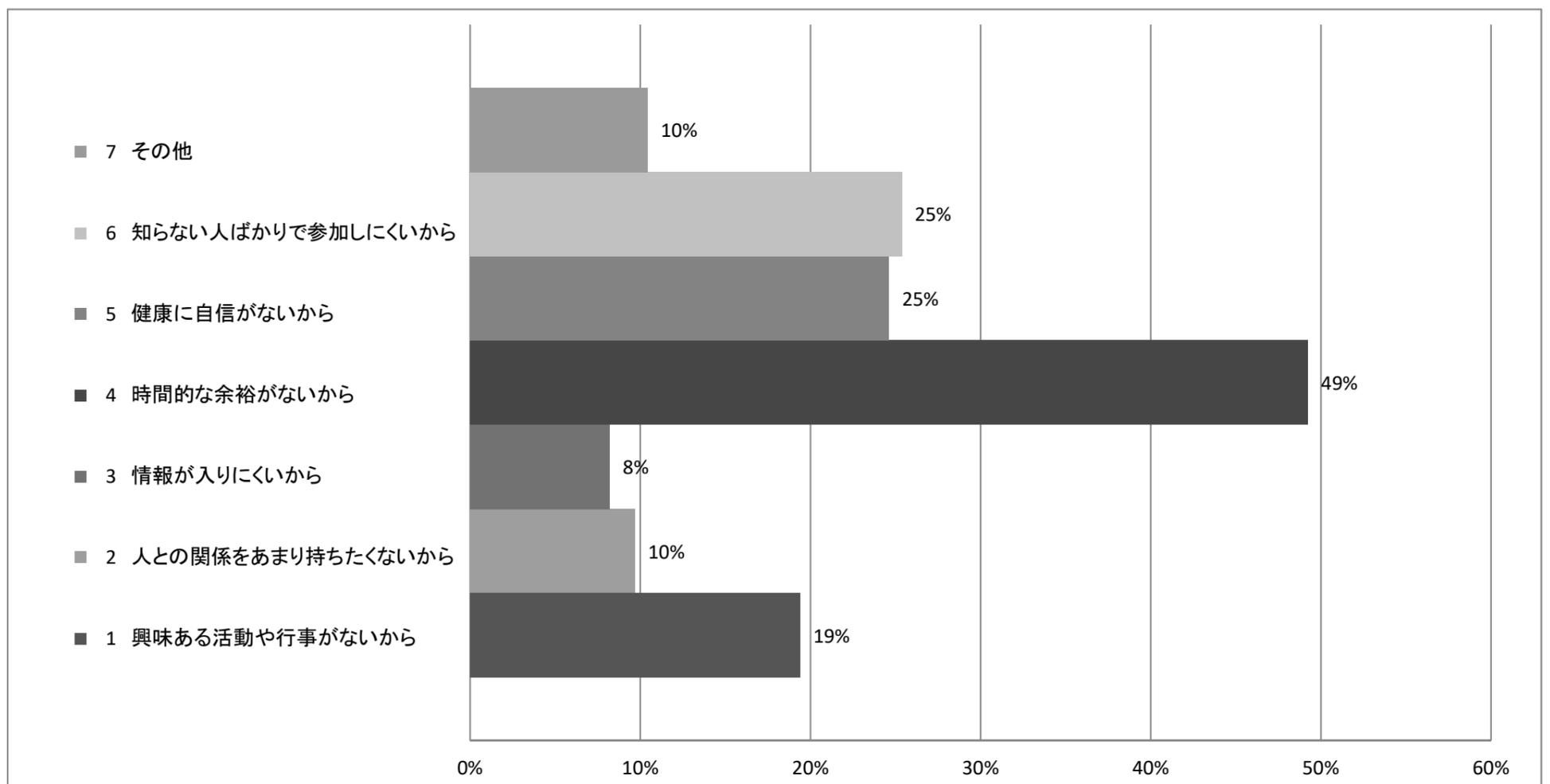
1 自治会、老人会、婦人会活動	232	46%
2 子ども会、PTAなどの活動	35	7%
3 防犯・防災、交通安全活動	55	11%
4 文化サークル活動、レクリエーション活動	61	12%
5 福祉ボランティア活動	43	9%
6 祭り、伝統行事	113	23%
7 消費者運動、環境美化、リサイクル、自然保護活動	37	7%
8 その他	8	2%
9 参加していない	134	27%



(問7で「9 参加していない」と答えた方におたずねします)

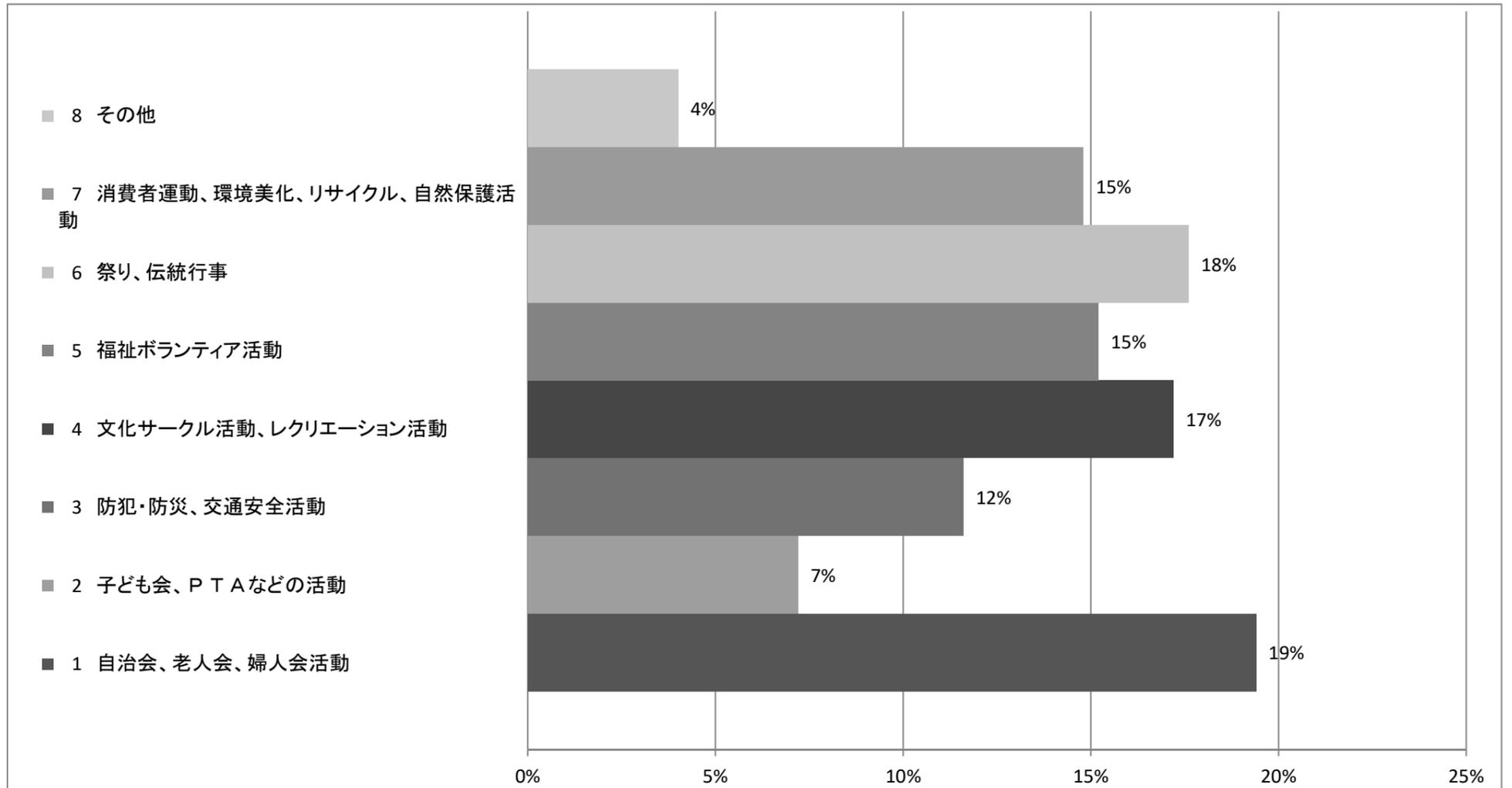
問8.参加が難しい理由は何ですか。(複数回答可)

1 興味ある活動や行事がないから	26	19%
2 人との関係をあまり持ちたくないから	13	10%
3 情報が入りにくいから	11	8%
4 時間的な余裕がないから	66	49%
5 健康に自信がないから	33	25%
6 知らない人ばかりで参加しにくいから	34	25%
7 その他	14	10%



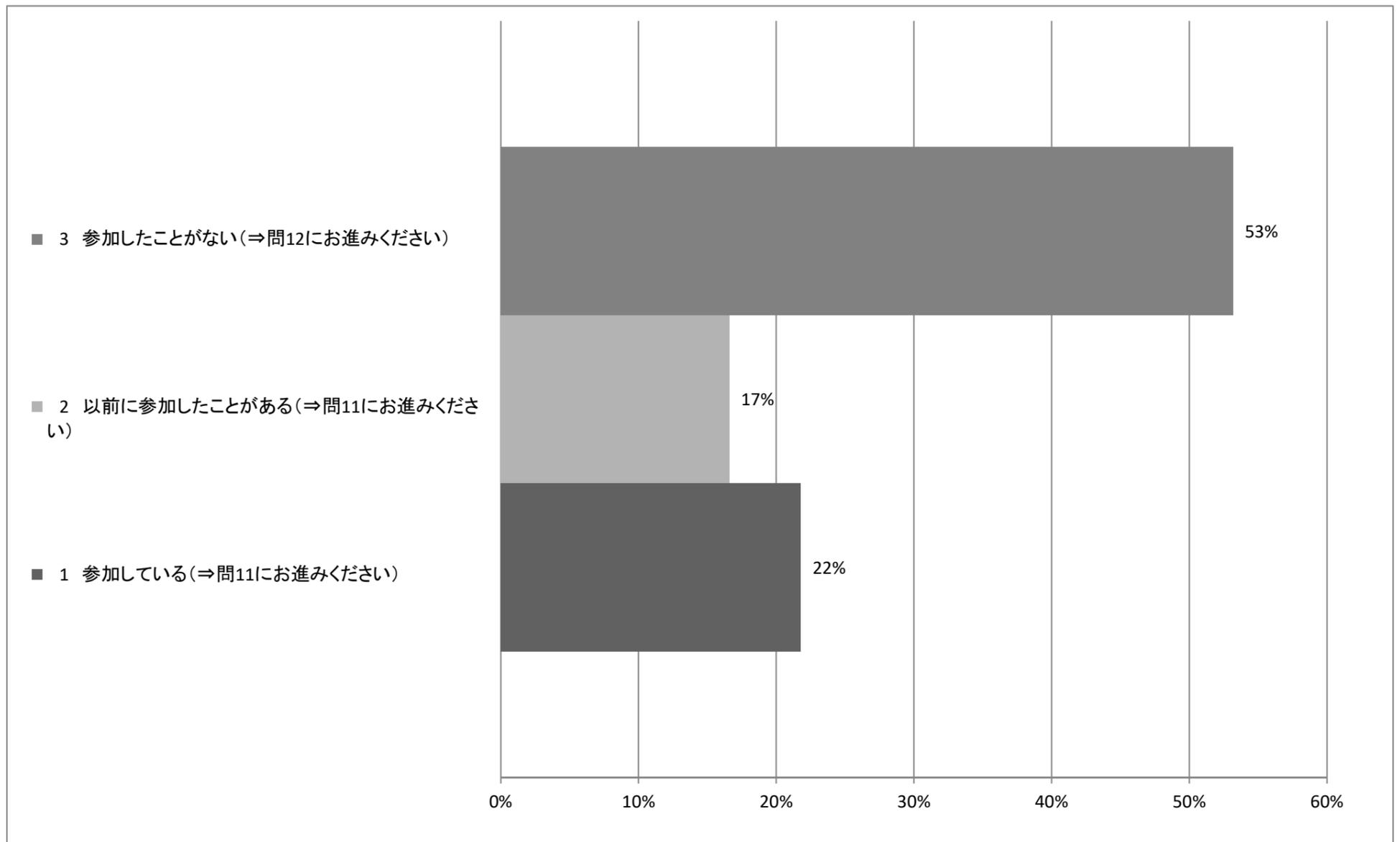
問9.あなたは、地域のどのような活動があればよいと思いますか。(複数回答可)

1 自治会、老人会、婦人会活動	97	19%
2 子ども会、PTAなどの活動	36	7%
3 防犯・防災、交通安全活動	58	12%
4 文化サークル活動、レクリエーション活動	86	17%
5 福祉ボランティア活動	76	15%
6 祭り、伝統行事	88	18%
7 消費者運動、環境美化、リサイクル、自然保護活動	74	15%
8 その他	20	4%



問10.あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。

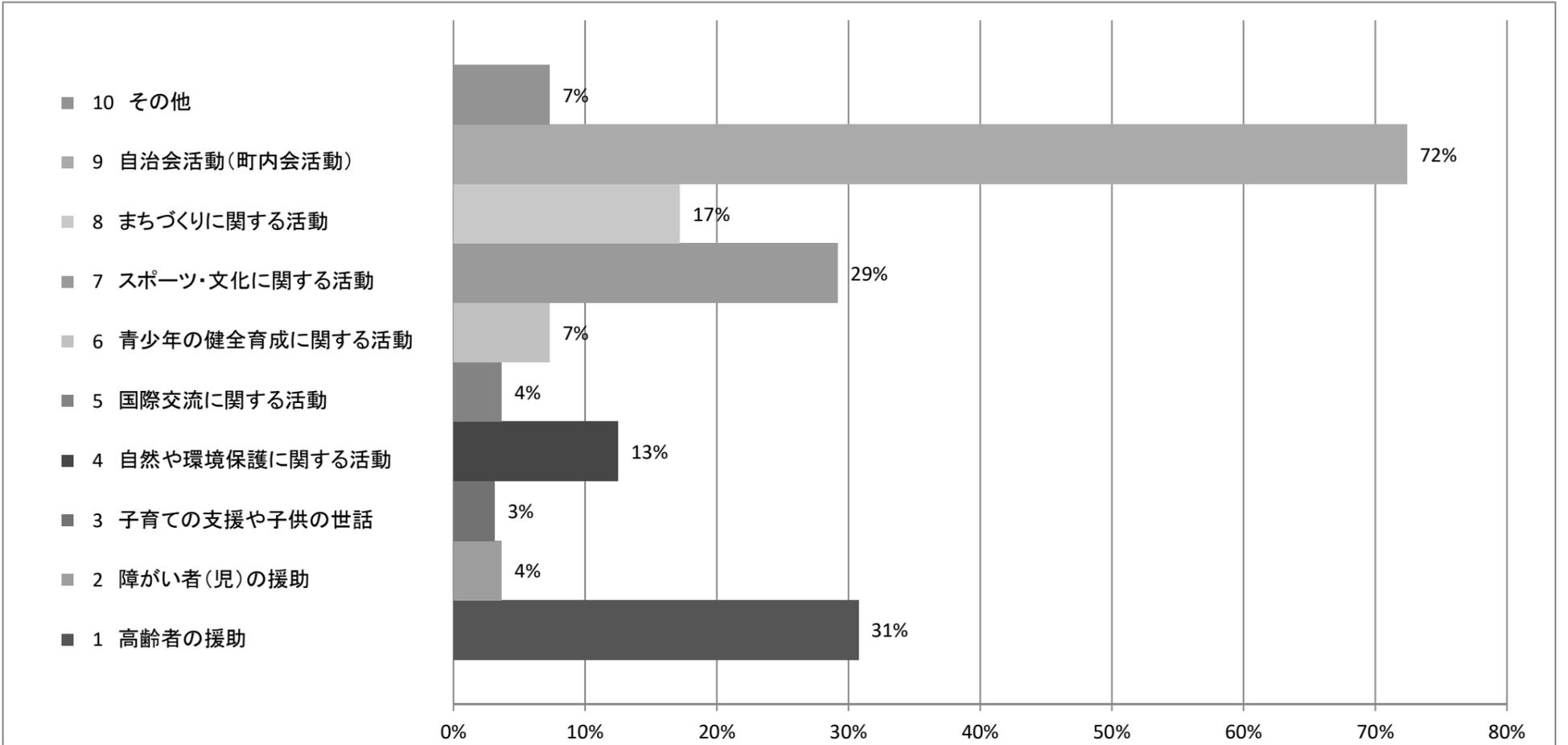
1 参加している(⇒問11にお進みください)	109	22%
2 以前に参加したことがある(⇒問11にお進みください)	83	17%
3 参加したことがない(⇒問12にお進みください)	266	53%



(問10で「1 参加している」「2 以前に参加したことがある」と答えた方におたずねします)

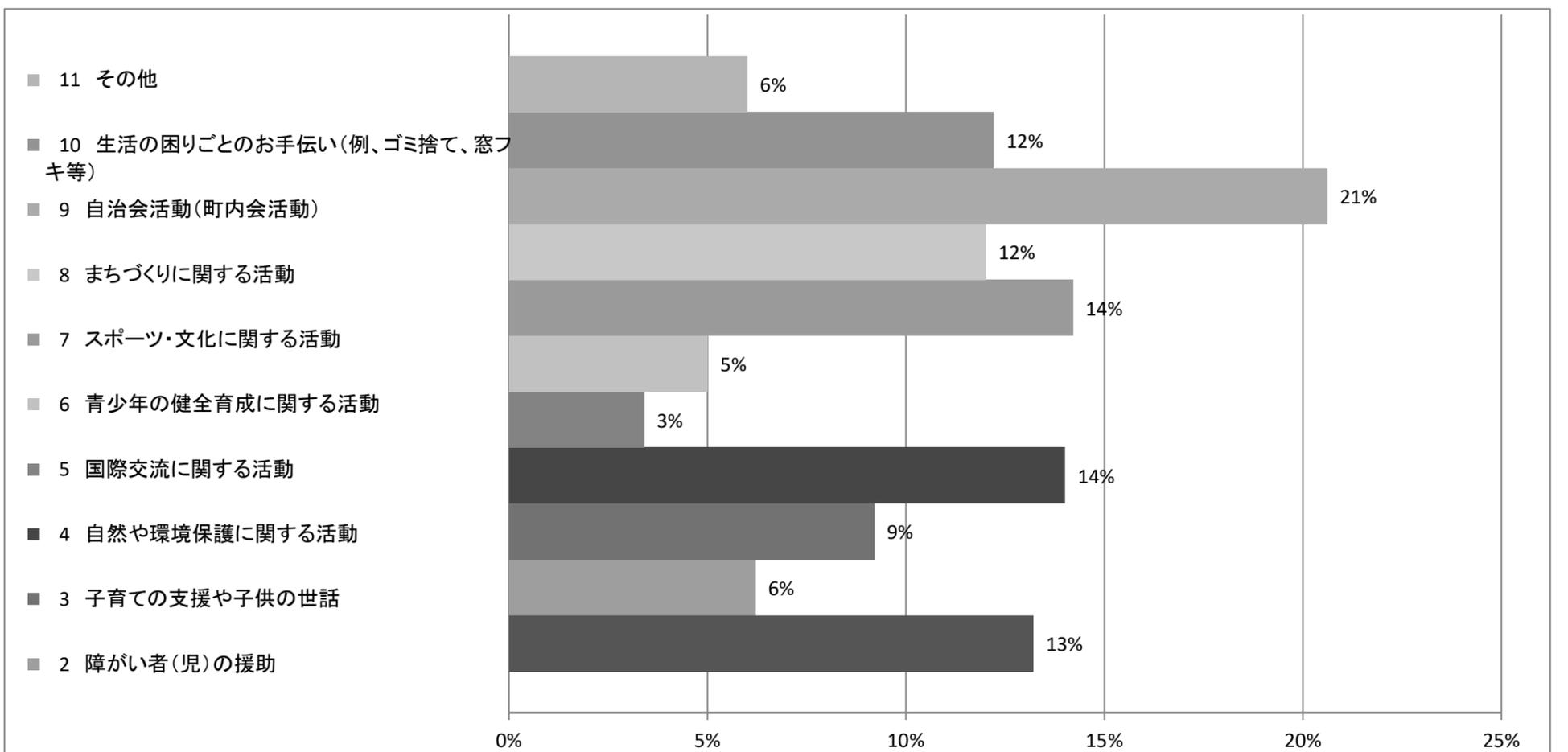
問11.あなたは、どのようなボランティア活動をしてきましたか。(複数回答可)

1 高齢者の援助	59	31%
2 障がい者(児)の援助	7	4%
3 子育ての支援や子供の世話	6	3%
4 自然や環境保護に関する活動	24	13%
5 国際交流に関する活動	7	4%
6 青少年の健全育成に関する活動	14	7%
7 スポーツ・文化に関する活動	56	29%
8 まちづくりに関する活動	33	17%
9 自治会活動(町内会活動)	139	72%
10 その他	14	7%



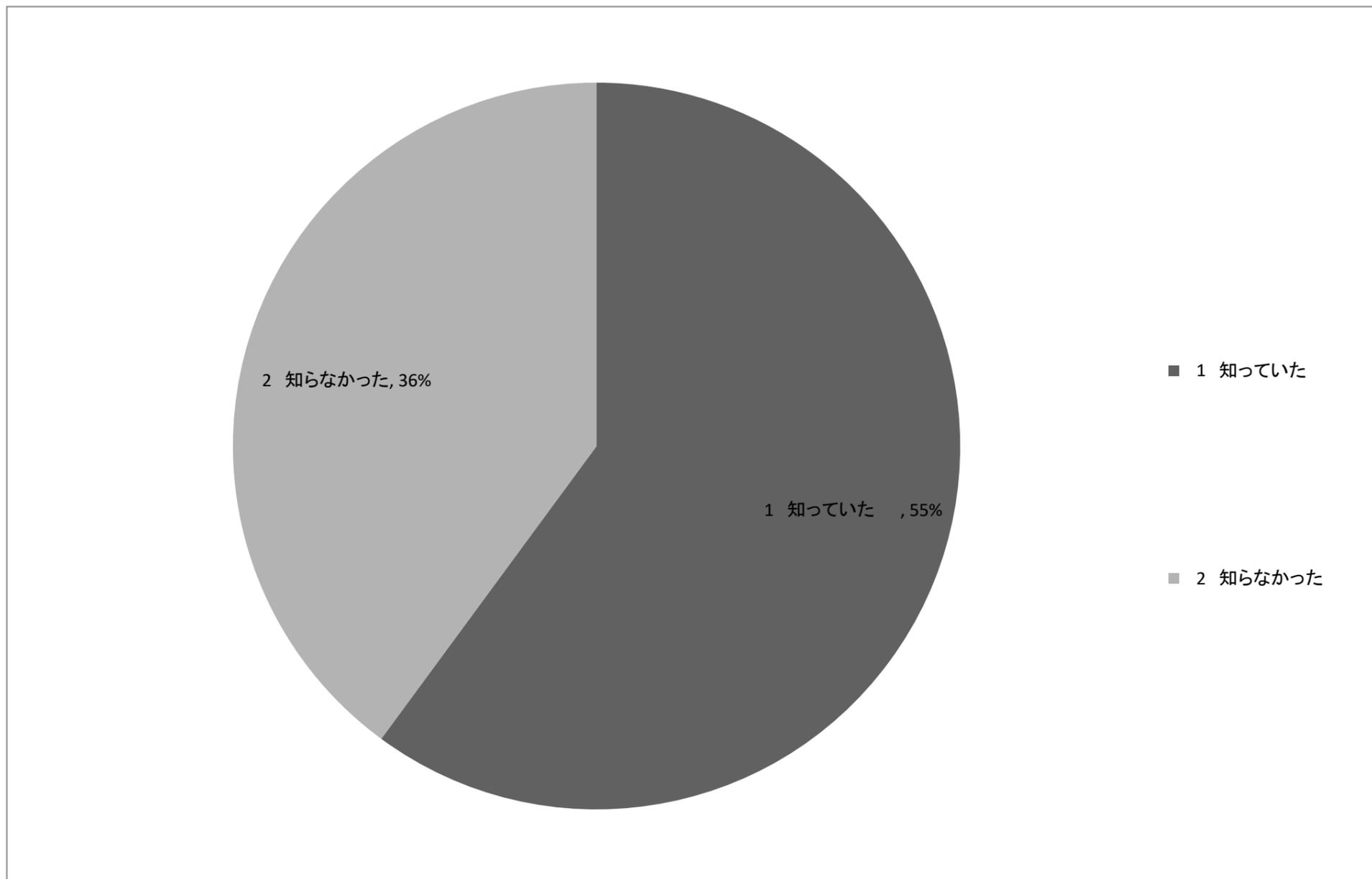
問12.どのようなボランティアなら参加してみたいですか。(複数回答可)

1 高齢者の援助	66	13%
2 障がい者(児)の援助	31	6%
3 子育ての支援や子供の世話	46	9%
4 自然や環境保護に関する活動	70	14%
5 国際交流に関する活動	17	3%
6 青少年の健全育成に関する活動	25	5%
7 スポーツ・文化に関する活動	71	14%
8 まちづくりに関する活動	60	12%
9 自治会活動(町内会活動)	103	21%
10 生活の困りごとのお手伝い(例、ゴミ捨て、窓フキ等)	61	12%
11 その他	30	6%



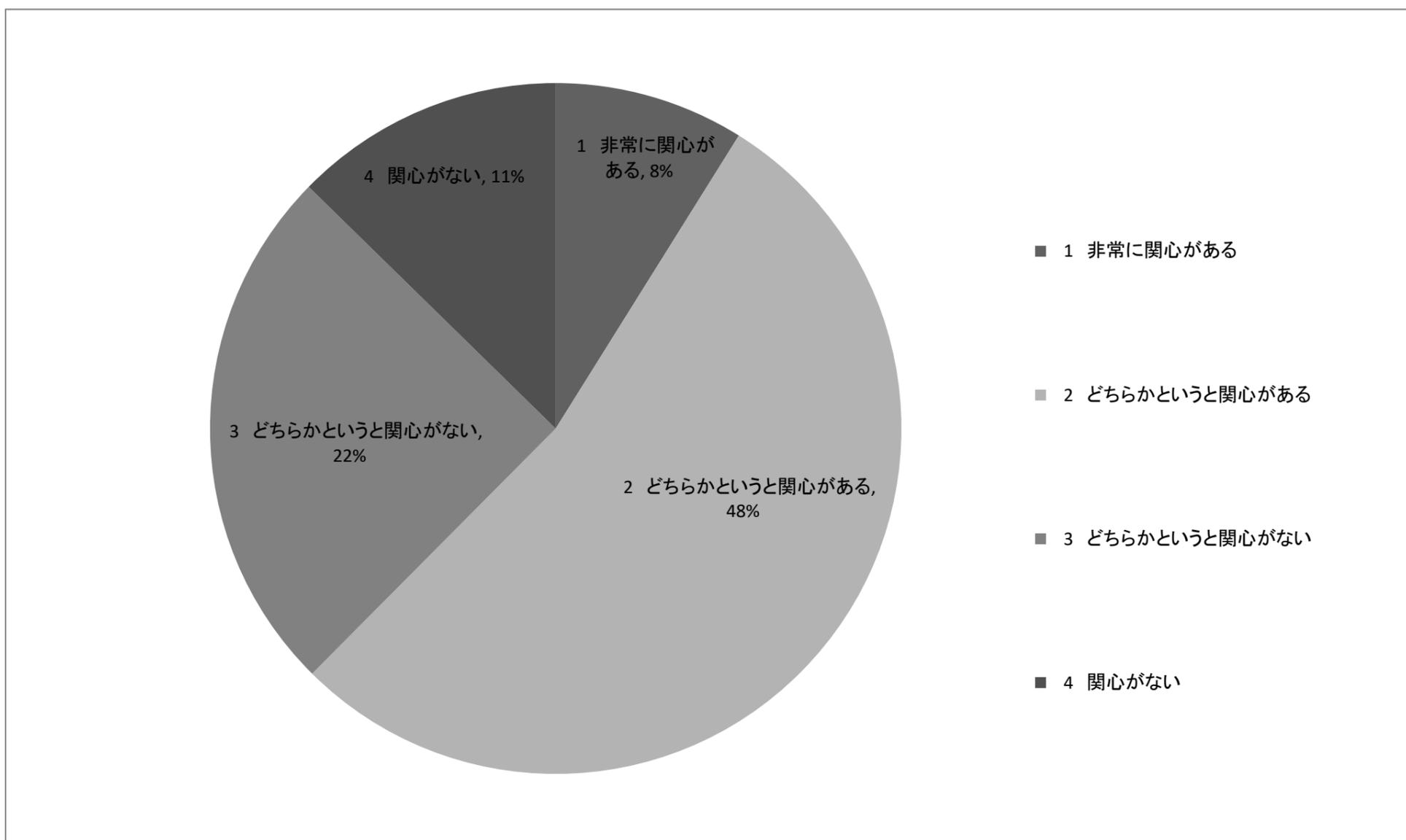
問13.あなたはこのアンケートにご回答以前に「地域福祉」という言葉を知っていましたか。

1 知っていた	274	55%
2 知らなかった	182	36%



問14.あなたは「地域福祉活動」に対して関心がありますか

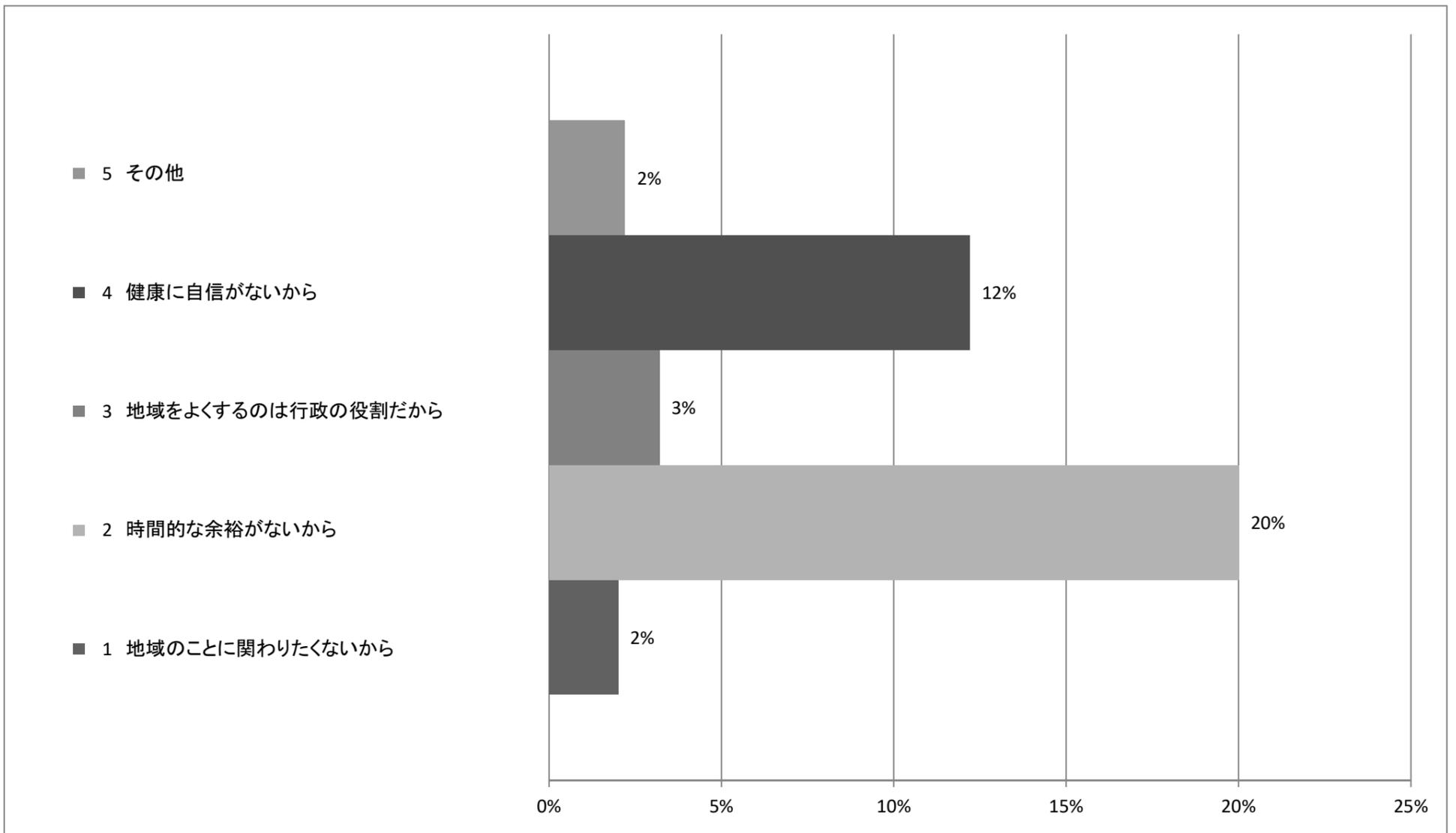
1 非常に興味がある	40	8%
2 どちらかというに関心がある	241	48%
3 どちらかというに関心がない	112	22%
4 関心がない	57	11%



(問14で「3どちらかといえば関心がない」「4関心がない」と答えた方におたずねします。)

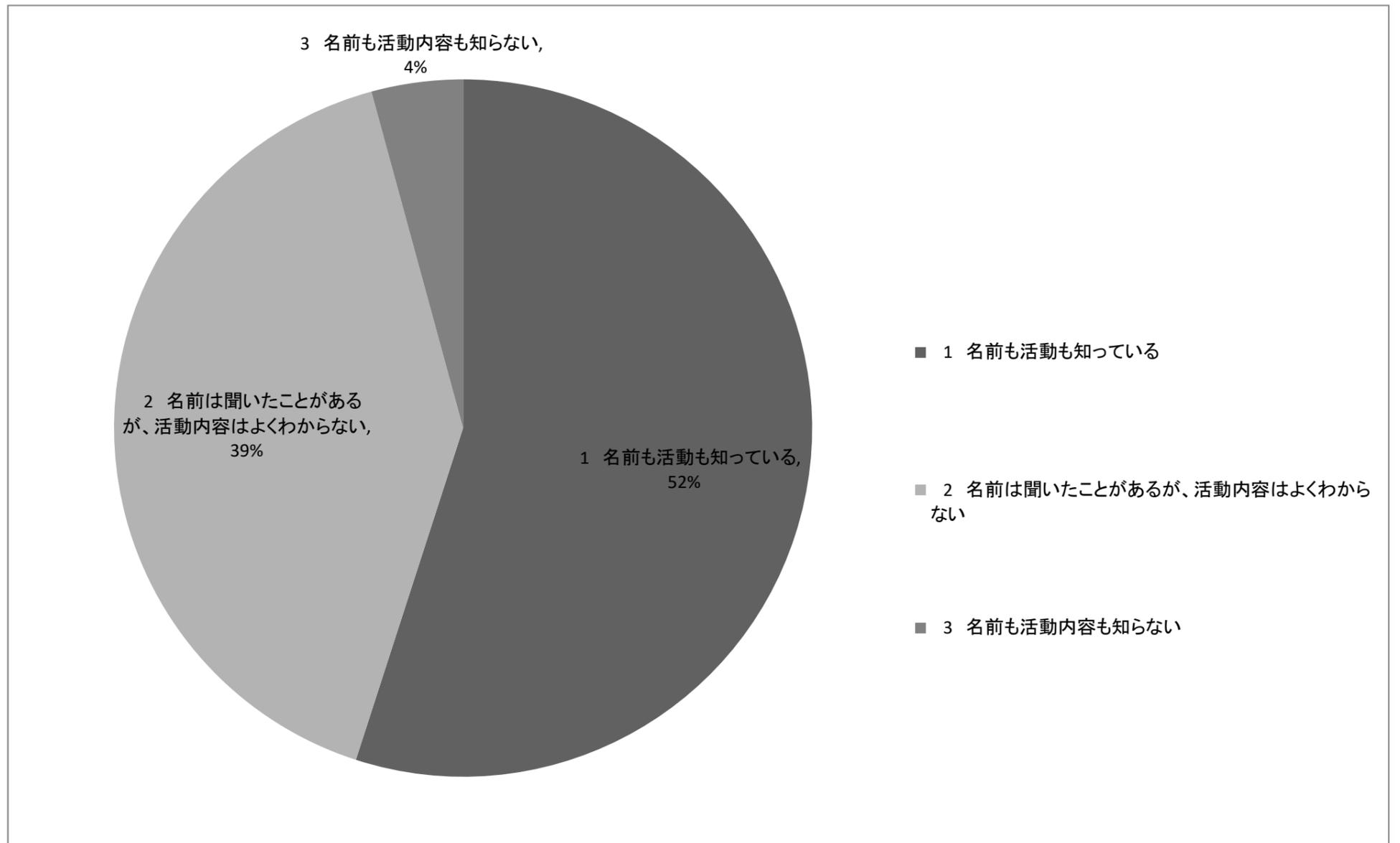
問15.関心がもてないのは、どのような理由からですか。(複数回答可)

1 地域のことに関わりたくないから	10	2%
2 時間的な余裕がないから	100	20%
3 地域をよくするのは行政の役割だから	16	3%
4 健康に自信がないから	61	12%
5 その他	11	2%



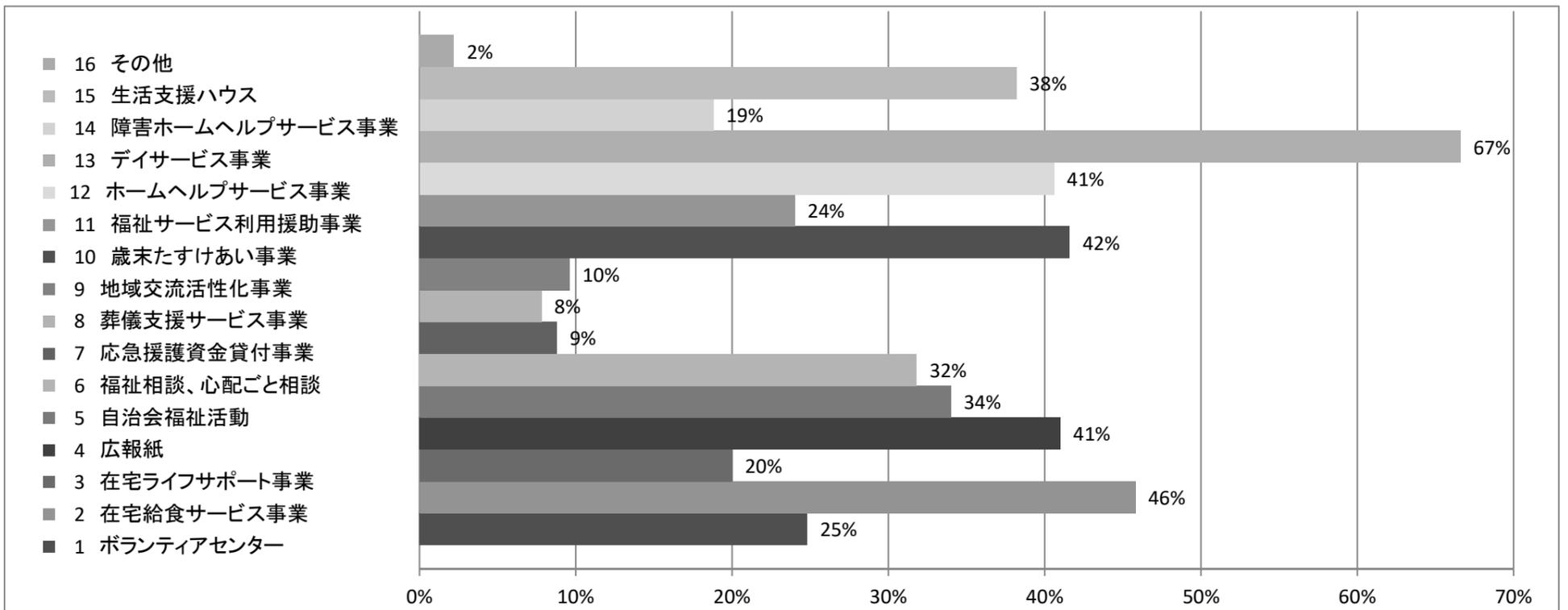
問16.あなたは、興部町社会福祉協議会を知っていますか。

1 名前も活動も知っている	260	52%
2 名前は聞いたことがあるが、活動内容はよくわからない	193	39%
3 名前も活動内容も知らない	20	4%



問17. あなたが知っている社会福祉協議会の活動はなんですか。（複数回答可）

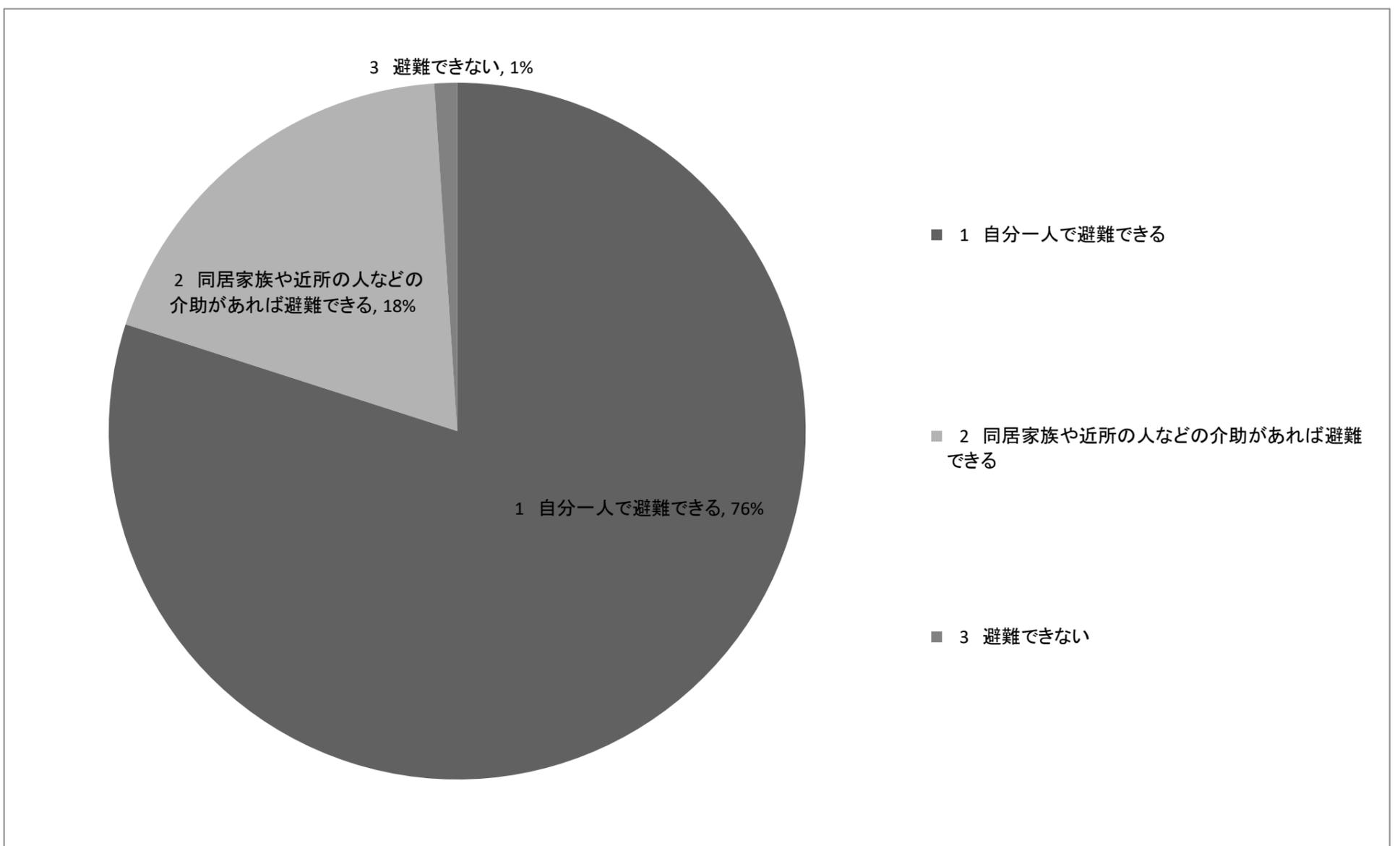
1 ボランティアセンター	124	25%
2 在宅給食サービス事業	229	46%
3 在宅ライフサポート事業	100	20%
4 広報紙	205	41%
5 自治会福祉活動	170	34%
6 福祉相談、心配ごと相談	159	32%
7 応急援護資金貸付事業	44	9%
8 葬儀支援サービス事業	39	8%
9 地域交流活性化事業	48	10%
10 歳末たすけあい事業	208	42%
11 福祉サービス利用援助事業	120	24%
12 ホームヘルプサービス事業	203	41%
13 デイサービス事業	333	67%
14 障害ホームヘルプサービス事業	94	19%
15 生活支援ハウス	191	38%
16 その他	11	2%



○災害時の対応についておたずねします

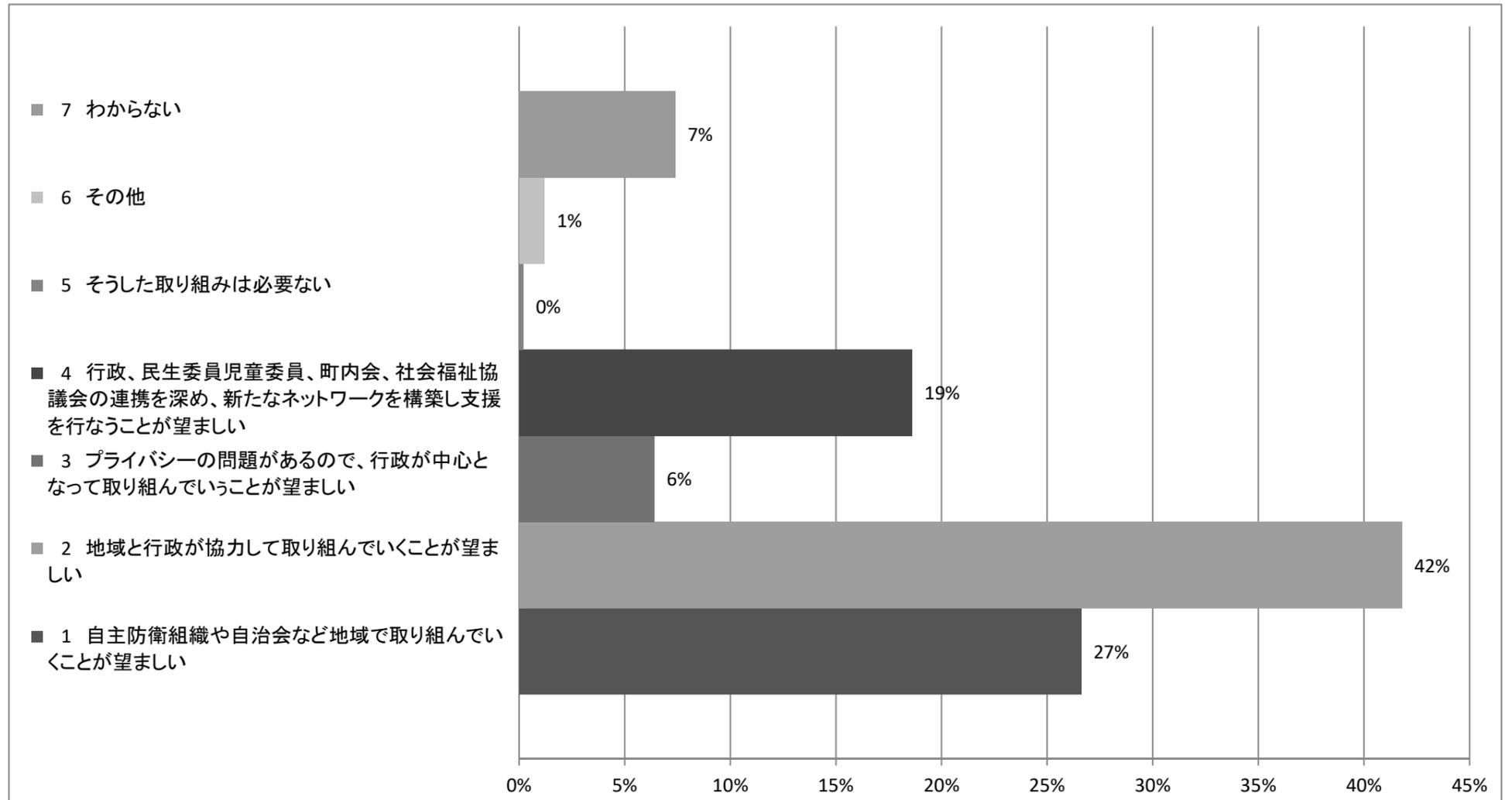
問19. 地震など災害が発生した時、あなたはどのように避難しますか

1 自分一人で避難できる	379	76%
2 同居家族や近所の人などの介助があれば避難できる	90	18%
3 避難できない	5	1%



問20.災害が発生した時、自力で避難できない方など手助けが必要な方に対する支援の取り組みについて、あなたはどのように思いますか。

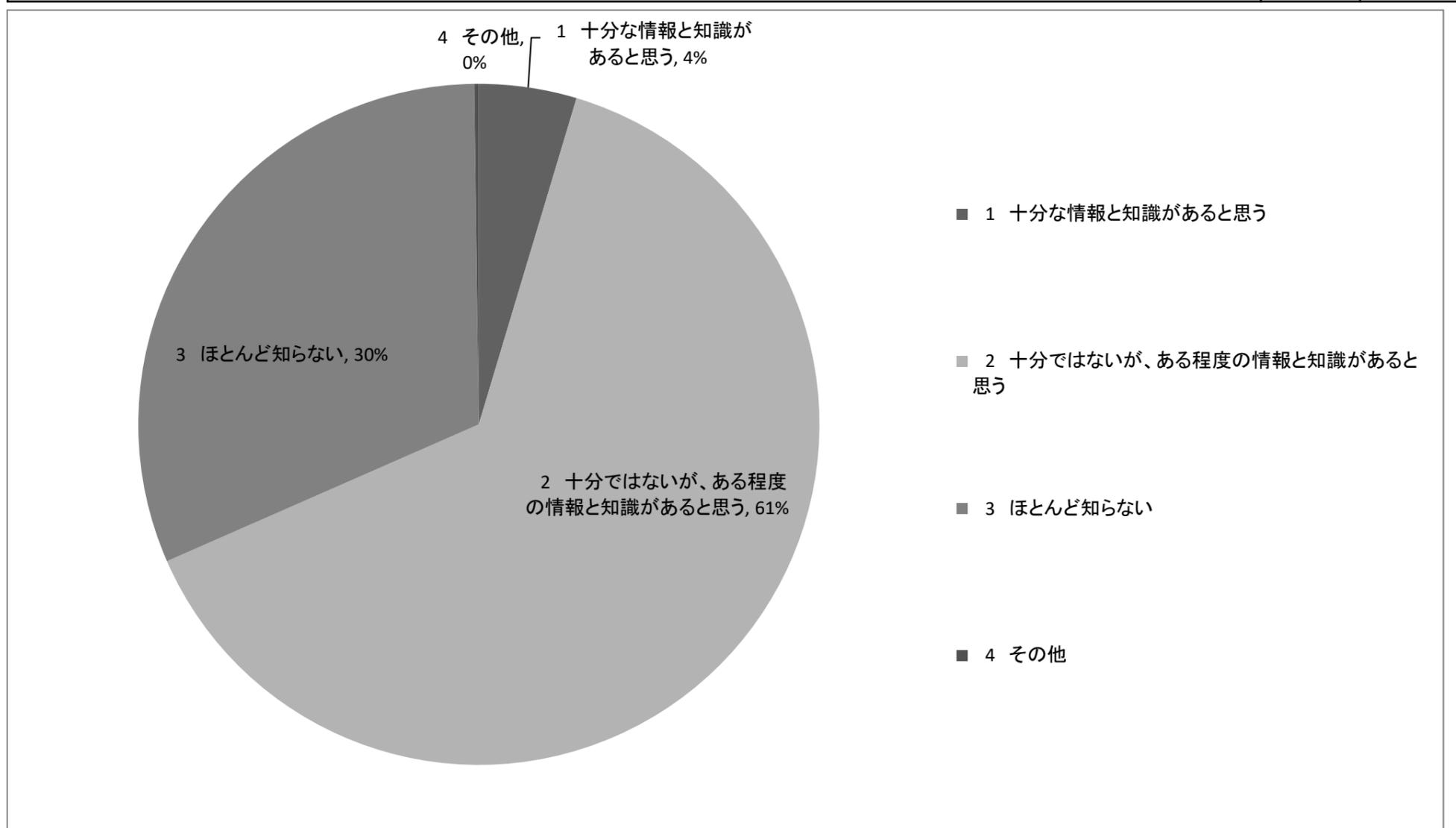
1 自主防衛組織や自治会など地域で取り組んでいくことが望ましい	133	27%
2 地域と行政が協力して取り組んでいくことが望ましい	209	42%
3 プライバシーの問題があるので、行政が中心となって取り組んでいくことが望ましい	32	6%
4 行政、民生委員児童委員、町内会、社会福祉協議会の連携を深め、新たなネットワークを構築し支援を行なうことが望ましい	93	19%
5 そうした取り組みは必要ない	1	0%
6 その他	6	1%
7 わからない	37	7%



○興部町の福祉について、あなたのお考えをたずねします

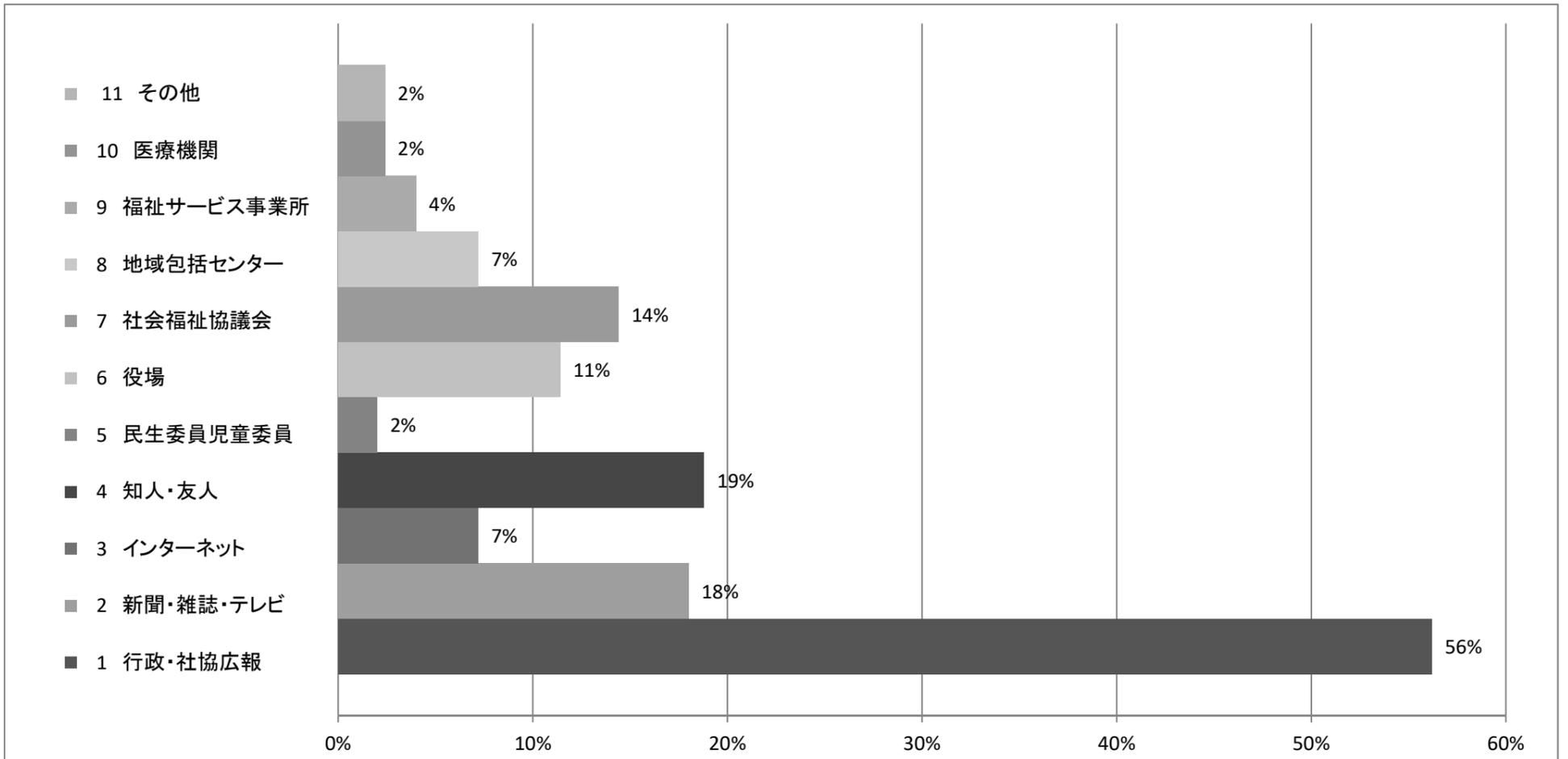
問21.あなたは、興部町の福祉サービスや福祉施設などについて、どの程度知っていますか

1 十分な情報と知識があると思う	22	4%
2 十分ではないが、ある程度の情報と知識があると思う	303	61%
3 ほとんど知らない	149	30%
4 その他	1	0%



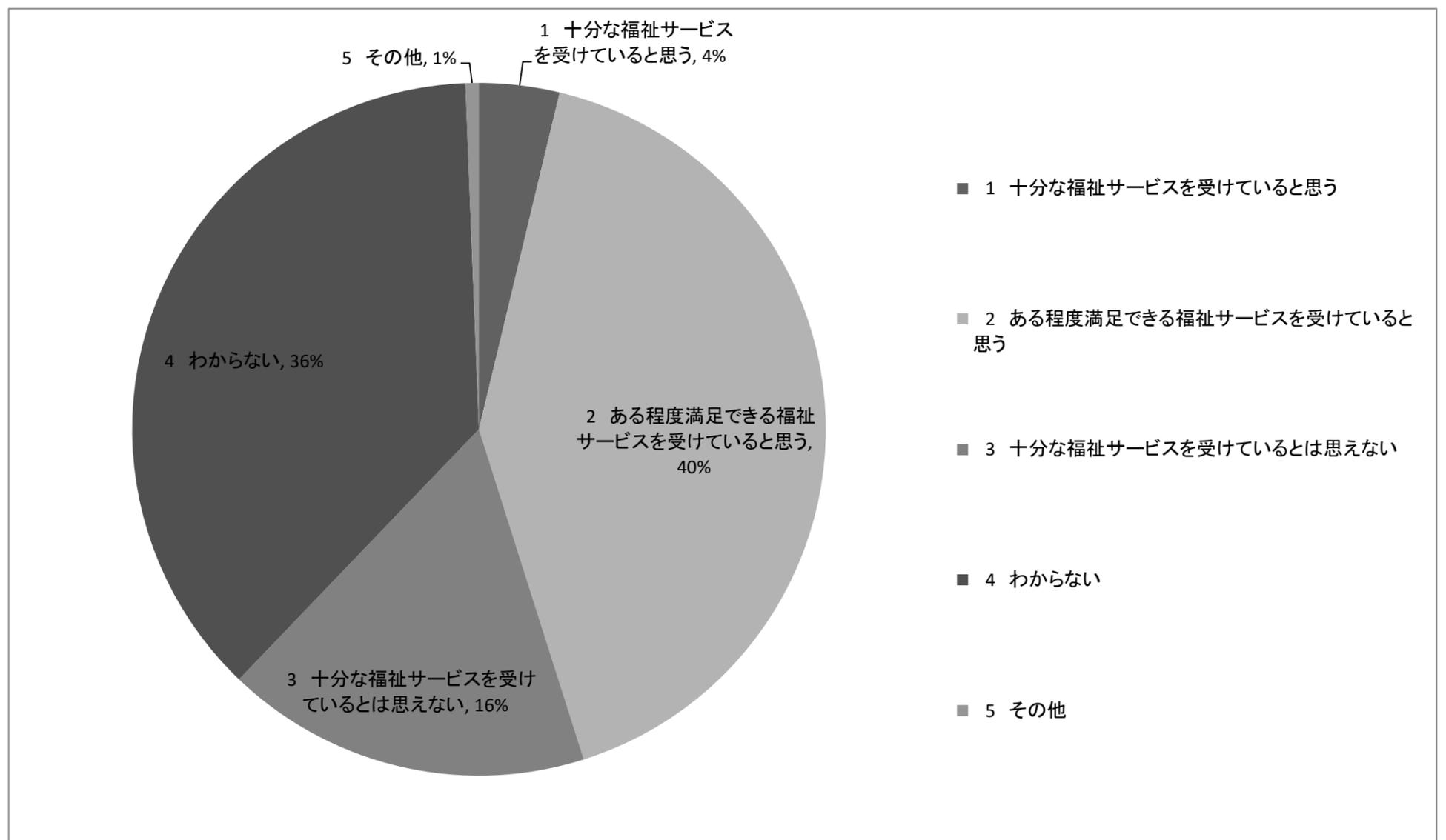
問22.あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

1 行政・社協広報	281	56%
2 新聞・雑誌・テレビ	90	18%
3 インターネット	36	7%
4 知人・友人	94	19%
5 民生委員児童委員	10	2%
6 役場	57	11%
7 社会福祉協議会	72	14%
8 地域包括センター	36	7%
9 福祉サービス事業所	20	4%
10 医療機関	12	2%
11 その他	12	2%



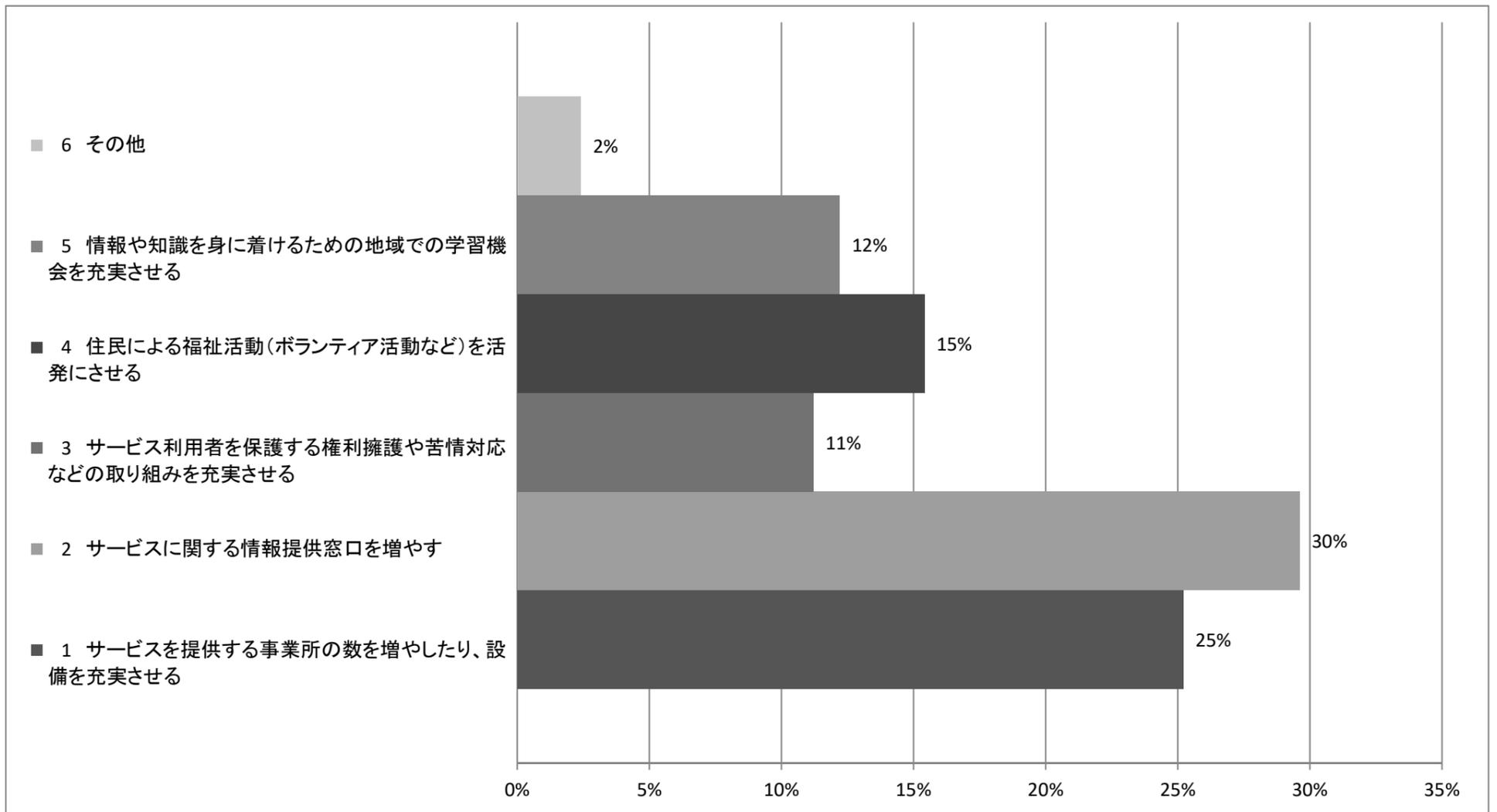
問23.あなたは、現在何らかの日常生活における支援を必要としている人が、十分な福祉サービスを受けいるとお考えですか。

1 十分な福祉サービスを受けていると思う	18	4%
2 ある程度満足できる福祉サービスを受けていると思う	199	40%
3 十分な福祉サービスを受けているとは思えない	82	16%
4 わからない	179	36%
5 その他	3	1%



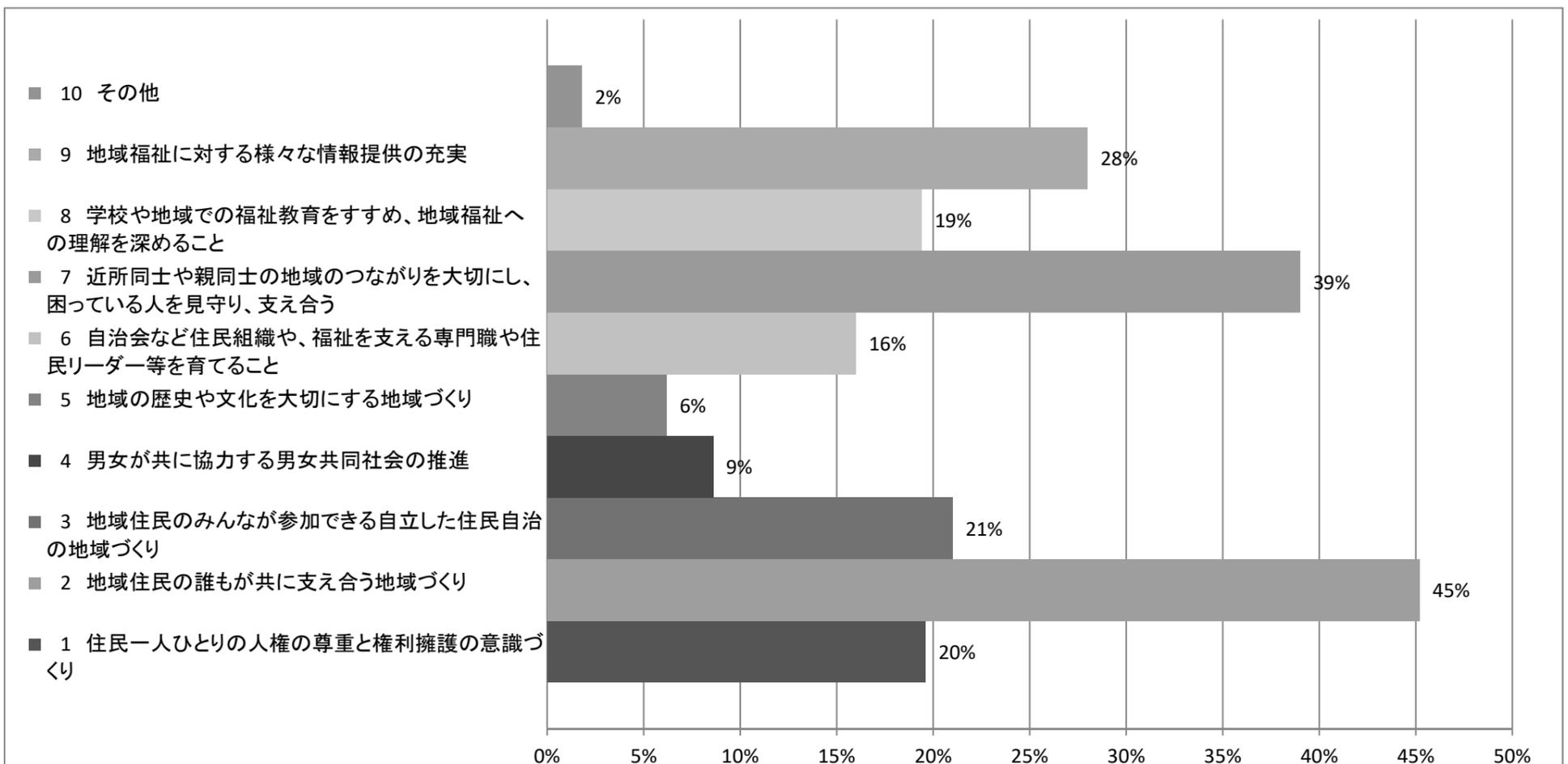
問24.あなたは、福祉サービスを充実させるために、最も必要と思う物は次のどれですか。

1 サービスを提供する事業所の数を増やしたり、設備を充実させる	126	25%
2 サービスに関する情報提供窓口を増やす	148	30%
3 サービス利用者を保護する権利擁護や苦情対応などの取り組みを充実させる	56	11%
4 住民による福祉活動（ボランティア活動など）を活発にさせる	77	15%
5 情報や知識を身に着けるための地域での学習機会を充実させる	61	12%
6 その他	12	2%



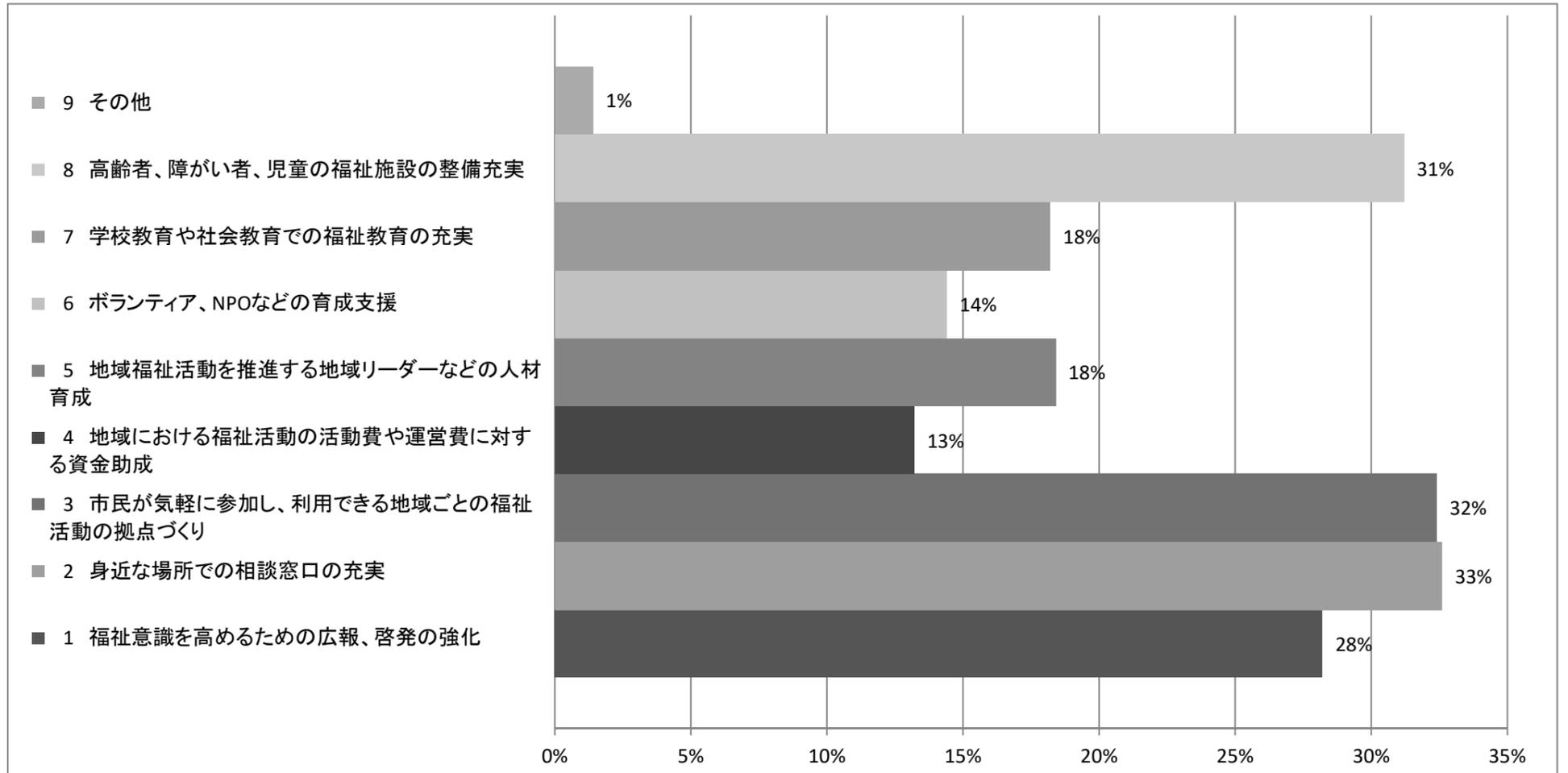
問25.みんなが助け合いながら安心して暮すためには、今後どのようなことが重要だと思いますか。（複数回答可）

1 住民一人ひとりの人権の尊重と権利擁護の意識づくり	98	20%
2 地域住民の誰もが共に支え合う地域づくり	226	45%
3 地域住民のみんなが参加できる自立した住民自治の地域づくり	105	21%
4 男女が共に協力する男女共同社会の推進	43	9%
5 地域の歴史や文化を大切にする地域づくり	31	6%
6 自治会など住民組織や、福祉を支える専門職や住民リーダー等を育てること	80	16%
7 近所同士や親同士の地域のつながりを大切にし、困っている人を見守り、支え合う	195	39%
8 学校や地域での福祉教育をすすめ、地域福祉への理解を深めること	97	19%
9 地域福祉に対する様々な情報提供の充実	140	28%
10 その他	9	2%



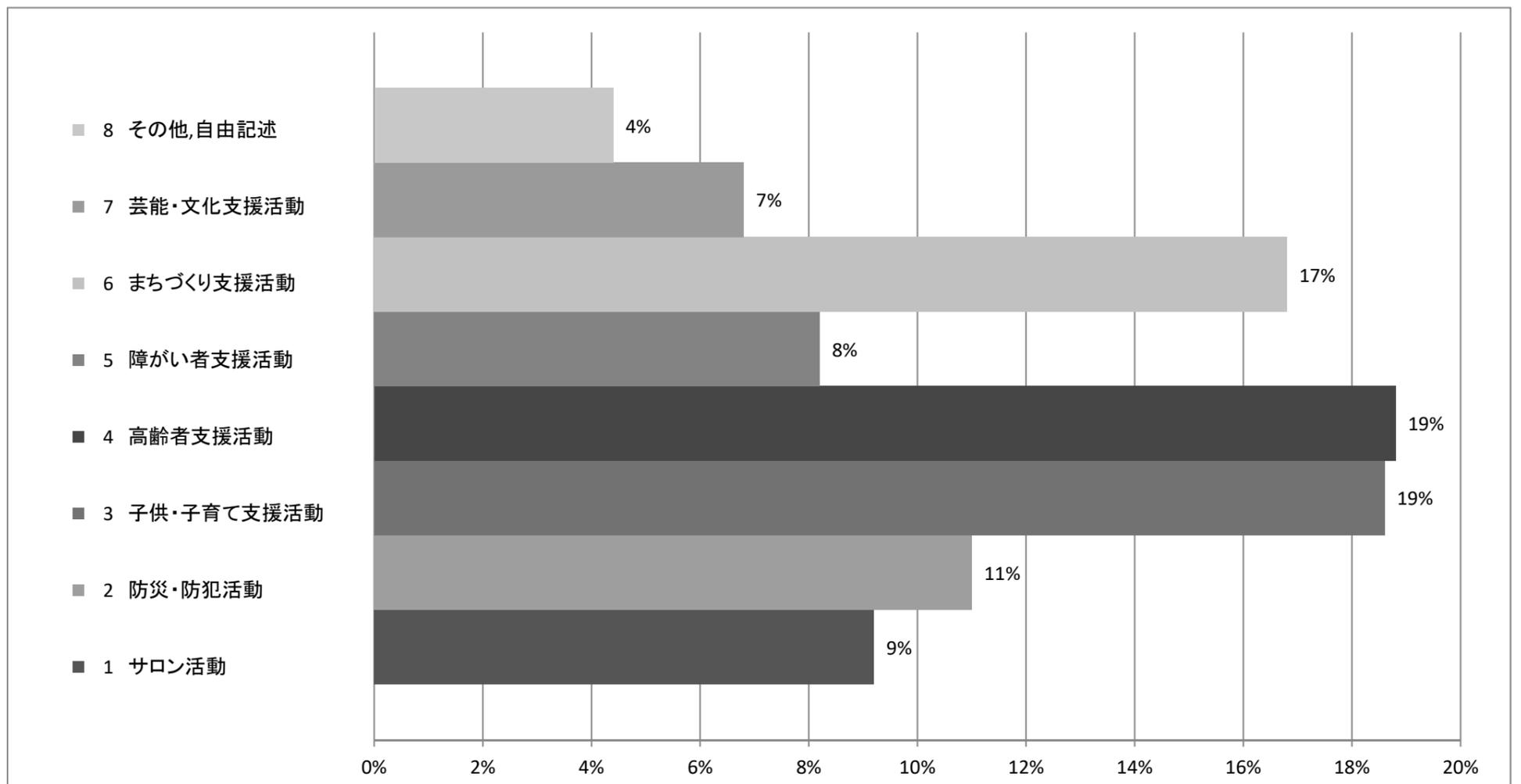
問26.あなたは、地域福祉を推進するため、今後どのようなことが重要だと考えますか。(複数回答可)

1 福祉意識を高めるための広報、啓発の強化	141	28%
2 身近な場所での相談窓口の充実	163	33%
3 市民が気軽に参加し、利用できる地域ごとの福祉活動の拠点づくり	162	32%
4 地域における福祉活動の活動費や運営費に対する資金助成	66	13%
5 地域福祉活動を推進する地域リーダーなどの人材育成	92	18%
6 ボランティア、NPOなどの育成支援	72	14%
7 学校教育や社会教育での福祉教育の充実	91	18%
8 高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備充実	156	31%
9 その他	7	1%



問27.あなたが、やってみたい地域福祉活動・ボランティア活動はありますか(複数回答可)

1 サロン活動	46	9%
2 防災・防犯活動	55	11%
3 子供・子育て支援活動	93	19%
4 高齢者支援活動	94	19%
5 障がい者支援活動	41	8%
6 まちづくり支援活動	84	17%
7 芸能・文化支援活動	34	7%
8 その他,自由記述	22	4%



問28.今後、誰もが安心して暮せるまちづくりを進めて行くため、福祉サービスのあり方、地域福祉の進め方、保健福祉への提言など、日頃みなさんが考えていることなどご自由にご記入ください。



問29.興部町社会福祉協議会に対するご意見はありますか。ご自由にお書きください。



みんなの暮らしをよくするための住民 アンケート

問3.あなたが、現在同居されている家族構成は次のどれですか。

- ・親と夫婦
- ・親子2世帯
- ・夫と子
- ・夫婦と子
- ・親と義弟

問4.あなたは、ふだん近所の方とどの程度お付き合いをしていますか。

- ・子供達がたまに遊びに行かせてもらっています

問5.あなたのお住いの地域で、”気になるところ（不安や不満等）”はありますか。

- ・病院の態度が悪い
- ・空き家
- ・匂い（くさい）
- ・乳幼児対応のバリアフリー

問7.あなたは、ふだん地域のどのような活動をしていますか。（複数回答可）

- ・桜の植樹、育成
- ・夫の介護の為、できない
- ・寺の行事手伝い
- ・自治会の役員を夫がしているので、特に無理をして参加する必要がないと思われるときは、無理をしないようにしています
- ・参加できない

（問7で「9 参加していない」と答えた方におたずねします）

問8.参加が難しい理由は何ですか。（複数回答可）

- ・今年から興部にもどってきたため
- ・人数が少ない
- ・高齢者 × 2
- ・防犯カメラ、外灯を増やして欲しい
- ・単身赴任中、週末は不在です
- ・交通手段がない
- ・年齢的に体が思う様に動かない
- ・夜出ることが出来ない為

問9.あなたは、地域のどのような活動があればよいと思いますか。（複数回答可）

- ・特にない × 2
- ・車が無いとどこにも行かれない、その事が辛いです
- ・いない
- ・参加したくない
- ・参加できない
- ・期待できない

（問10で「1 参加している」「2 以前に参加したことがある」と答えた方におたずねします）

問11.あなたは、どのようなボランティア活動をしてきましたか。（複数回答可）

- ・入手していない
- ・配食
- ・人権に関わること
- ・体操教室
- ・自治会福祉委員、ななかまど
- ・防災
- ・募金活動

問12.どのようなボランティアなら参加してみたいですか。（複数回答可）

- ・今の所考えていない
- ・特にない × 3
- ・釣りに関すること
- ・自分も年なので親の介護など今は、自分のことでいっぱいです
- ・仕事をしているので無理です
- ・歩行が出来ないので参加ができない
- ・高齢者 × 4
- ・参加できない × 2
- ・ボランティアをしたいと思える環境ではない
- ・防災
- ・70才に近いので人様を助けてあげる事に不安体力的に

(問14で「3どちらかといえば関心がない」「4関心がない」と答えた方におたずねします。)

問15.関心がもてないのは、どのような理由からですか。(複数回答可)

- ・高齢だから × 2
- ・行政に携わる人は、休日等の活動には手当が支給されますよね、一般人は、無給でやっているなのでその辺が不公平
- ・関わりづらい
- ・自分の事でいっぱい
- ・人付き合いが苦手なため
- ・考えられないため

問17.あなたが知っている社会福祉協議会の活動はなんですか。(複数回答可)

- ・まったくわからない、もっと住民にわかるようにしてほしい
- ・うわつつらだけのボランティアばかり
- ・何も知らない

問18.あなたが、求める社会福祉協議会の活動はなんですか。ご自由に記載下さい。

- ・今後の福祉サービス利用援助事業等に期待します
- ・きびしさと助け合う気持ちのバランスのとれた行動
- ・要支援の対象にならない人の支援
- ・高齢者に対する地域を上げて活動の協力をしてほしいです。
- ・地方自治体の手が行き届かない福祉事業の実施
- ・年配の方だけでなく、若者にも焦点の当たった活動を年に数回取り入れても良いのではないか
- ・社会福祉協議会がわからない
- ・地域福祉を第一に、興部町に於いて更に進んでいる高齢化に伴う諸問題に取り組み、安心して暮せるための活動が必要な物と考えます。
- ・生活困窮者の支援
- ・みんなが仲よく楽しく暮らせる町を作りたい。すでに実施されていますがその意思を受けておりますが何時かはその恩に報いたいと思っておりますが、まだ、実現できていないのが残念ですが頑張ります。
- ・生活支援ハウス、広報紙、デイサービス事業、ホームヘルプ事業、在宅給食事業、歳末たすけあい事業
- ・ホームヘルプサービス事業に対する考え方を皆で考えて行こう
- ・個人(社協)の為の活動ではないので、町の為、町民の為を第一に考えて「前向きで元気のある」活動をして下さい。
- ・メルカリ的な事業(不要物の譲渡、売却等)を展開してはどうか、社協は橋渡し役として。
- ・介護保険に基づいた自分が暮らして行けず、又は、体が自由にならずの人が通うデイサービスや福祉施設に入れることの希望しかありません。
- ・住民参加の推進(関心を高める)
- ・社会的弱者へのサービス

- ・求める活動はと聞かれ、すぐには答えられず今の自分の立場や時間を考えると、思っている自由に参加できない。
- ・行政や関係機関が実施連動の事業、活動等
- ・地域の人々の暮らしに密着し、行政との連携を保ち、住民が安心して暮らすための活動をすると
- ・ボランティア精神をもって、本当に無給で。ただ、会議に出て、話を聴くだけで金品が支給されるのはやめていただきたい。
- ・現状で良いと思います
- ・町民が地域問題に関心を持ち、行動する事が大切
- ・社会福祉委員の活動手助けとなり得る行政とのつながりを（協力）を得て地域住民の情報を共有化する
- ・誰もが安心して暮らせる町づくり
- ・除雪に関わる支援、子ども食堂、老人の定期的な訪問、声かけ
- ・一人暮らしのための時々訪問
- ・老健、特養等の施設
- ・災害時のボランティアセンターの立ち上げと運営
- ・障害児（者）が通える（事業所、デイサービス）を話し合いで考えて行って欲しい。
- ・年寄りが多い町介護サービス
- ・巡回移動コンビニマート
- ・地域コミュニティー型組織とアソシエーション型組織をつなぐ役割を持ってほしい
- ・社協の自主的な活動
- ・広報をきちんと読んでいない自分に問題があるのですが、あまり良くわかっていないのが正直なところです。上記の1～14を見てそーゆう事なんだ、知りました。
- ・活動内容が解っていても、活動の重要性が解らない事が多い。必要性を含めた活動内容の発信が必要では。
- ・高齢と共に通常の生活が困難な事が多くなった時の支援など。
- ・子育て支援をしてくれるような活動。以前あった、ひだまりサロンやオムツの助成等
- ・些細な事でも気軽に相談できる雰囲気づくり。きらりは物静かで来客に挨拶もしない事が多いため。
- ・住民の意見より良く推進していくこと
- ・一人暮らし高齢者への支援
- ・町民と協働して行いう事ができる活動
- ・町から（町民の税金）お金を貰っているので福祉をもっとよくして義務があると思います。
- ・お年寄りの病院送迎、お年寄りの買い物
- ・何をしている団体なのか詳細がわからないので、広報活動もしてほしいです。興味ある人が参加しやすい、人が参加しやすい様になればいいと思います。

○災害時の対応についておたずねします

問19. 地震など災害が発生した時、あなたはどのように避難しますか

- ・ 仕事上の対応が必要
- ・ 水害、雪害など心配です。今までは何とかのり越えてきましたがこれからは心配です。
- ・ 地震がない
- ・ 歩けない × 2
- ・ 同居していないが、町内に子供がいるので可能
- ・ 夫婦で逃げれる
- ・ 一人では前後左右、何もわからない
- ・ 現在は自分一人で避難できる。年が取るほど足や体が弱くなると一人では避難出来ない。
- ・ 近所を見て手を貸してあげたし
- ・ 自分で避難できるかどうかは不明、腰の手術を3回行なっているが良くなりず歩行が上手に出来ない為
- ・ サイレンの音が割れて聞きづらい、もっと聞きやすくしてほしい、何を言っているかわからない
- ・ 公助に入るため、避難活動に参加できません。
- ・ 足がヨボヨボと、一人でどこに行ってもよいか解らない

問20. 災害が発生した時、自力で避難できない方など手助けが必要な方に対する支援の取り組み

- ・ 支援が必要な方を名簿化する
- ・ 近所の付き合いを普段から身近になると良い
- ・ 支援は必要とするが、どこの管轄で支援して欲しいかはわからない
- ・ ④に加え要援護者に対してはケアマネ等も参加して、災害発生時をシュミレーションした机上でのトリアージをして関係者の共通認識を持つ。
- ・ 行政のみや、行政だよりでは対応しきれないので身近な人（近所）の安否を確認し合ったり食料や電池等を分け合ったりできる範囲で協力していきたいです。
- ・ 災害発生時、自力で避難できない方をすぐに助けに行ける方を決めたとして、すぐに行ける状況じゃなかったりすると、決めておくことが逆に助けに行く事を遅くしてしまうのでは？連携を深めるというのはどういう方法で？
- ・ 自分の近所にそういう人がいたら一緒に連れて行きたいと思っている。
- ・ 慣れている人が助けられるのが、一番良いと思うが間に合わない事もあるので近くの人が出来ればよいと思います。

○興部町の福祉について、あなたのお考えをたずねします

問22.あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。

- ・興部は、全くなっていないと思う
- ・広報紙
- ・家族

問23.あなたは、現在何らかの日常生活における支援を必要としている人が、十分な福祉サービスを受けいるとお考えですか。

- ・対象となる方から直接話を聞いたり、自分の目で体験していないためわからない
- ・一部の人は受けている

問24.あなたは、福祉サービスを充実させるために、最も必要と思う物は次のどれですか。

- ・中身のある活動を行なうべき
- ・わからない
- ・介護する人の勉強がたりない、きりりでも病院でも
- ・ハード面ではなく、ソフト面に力を入れる必要がある。特に子供達への教育が大事
- ・既存の事業所の充実
- ・予算の増額、専門職員の増員など
- ・個人がどのようなサービスがあるか知らせるシステムが必要、解らないことが多い
- ・まずは自分たちで何ができるのかをしっかりと考えて欲しい。

問25.みんなが助け合いながら安心して暮すためには、今後どのようなことが重要だと考えますか。（複数回答可）

- ・わからない
- ・今まで通りで充分
- ・プライバシー保護
- ・若者を増やす
- ・高齢者住宅の充実、制限をなくす。町民全体を考えるべき。

問26.あなたは、地域福祉を推進するため、今後どのようなことが重要だと考えますか。（複数回答可）

- ・成功している他町村に事例に学ぶ必要がある、情報の収集、研修、講師を招く等
- ・仕事や家庭がある中で、無償で充実したサービスを求めるのは難しいと思う。
- ・今までで通りで十分
- ・もっと若い人中心でできればいいが、老人が老人を助けるのはむりなのでは？

問27.あなたが、やってみたい地域福祉活動・ボランティア活動はありますか
(複数回答可)

- ・ボランティアに興味があるが年齢が年齢なので出る勇気が無いです。
- ・自分達も高齢になり、自分たちのことで一杯です。活動できません
- ・特にありません × 5
- ・困りごとの実施、不用品の片づけ、壊れた物の修復等
- ・サッカー、フットサルの指導（児童、生徒向け）
- ・年齢的体力的に人助的な事は自分には無理
- ・世代間交流、フードバンク、子ども食堂等
- ・気軽に参加できるものがよいです。未就学児がいても参加できれば助かります。

問28.今後、誰もが安心して暮せるまちづくりを進めて行くため、福祉サービスのあり方、地域福祉の進め方、保健福祉への提言など、日頃みなさんが考えていることなどご自由にご記入ください。

- ・免許返納した後の対策を考えていただきたい。特に、病院、買い物等、葬儀の場合も不自由を感じます。
- ・利用者の減少の中、行政と福祉施設が連携して利用者及び利用対象者の現状を把握すること
- ・高齢者のみの家では防災に対する対応が十分ではないと思います。市井の人たちが手を差し出す必要があると思います。
- ・高齢者の交通手段や方法などを考えて高齢者運転の事故防止や免許を返上しても移動に不自由の無い様な交通の体制づくりが必要と思います。交通弱者の救済体制づくりに努めてもらいたい
- ・地域福祉の実現には、一部の福祉関係の専門機関だけではなく、ボランティア活動やまちづくりに取り組む町民の方々、保険・医療、住宅、建設、商工業にたずさわる、様々な専門家、団体の方々など多くの人の協力が必要だと思います。また、推進については、住民による主体的な活動と、行政や民間の多様な主体が協働しながら、それぞれの役割を果たしていくことが大切だと考えますが、そのためには、地域において課題やニーズを発見し、受け止め、地域資源(サービス等の情報・人・場所)をつなぎ、具体的な解決へ導くことができる人材の役割が重要となります。そのような課題に対応する「地域福祉コーディネーター」の育成こそが社会福祉協議会の仕事だと思います。
- ・施設の整備をしても、人材が不足しているため不完全な物にしかならない。各人が自立できるような取り組みが必要。
- ・病院の医者増員、看護師や介護士の教育、興部はダメです。
- ・他人事とは考えず、自分の事と置き換えて真剣に取り組むこと、当該業務に携わっている方々は、決して職務がゆえにやっているという気にならず、地域の現在、発展、継続の使命感持ち続けることが必要だと思いますので頑張ってください。

- 年金が少し足りないので心配
- 現在進行中の桜の植樹をもっと進めたい。高齢者のハイヤー代が高すぎると思う。もっと安くはならなんでしょうか。
- 民生児童委員さん、自治会福祉委員さん、社会福祉協議会の連携を深め、新たなネットワークを構築し、支援を行う事が望ましい、見守り等々。
- 少人数でも良いので、近所同士で良い付き合いで行きたい。高齢者等をどうしてもう少し通わしてはどうか。
- 他町村の活発に取り組んでいる社協の見学、研修等で「社協とは、どうあるべきか？」を(基本だと思いますが！)知識をつけてほしいです。社協として何をすればよいかもう少し勉強して下さい。
- 身体不自由になってからでは他町村福祉施設に転出しなければならなくなる。私は思わしくない興部町にもおもしろい患者さんを入れる施設があった方が良くと思います。
- 色々な福祉サービスがたくさんある中、参加しなければあっても意味がありません。参加する事がしやすい体制を築いてほしいです。
- 今後のサービスを受ける側が右肩上がりに増えるのは確実です。町からの人件費確保は急務です。一人当たりの職員の受け持つ対象者など根拠をそろえて、町の弱者へのサービスを滞ることのない様に措置すべきです。それは行政の役割だと思います。
- 興部には、老人施設が足りなく早急に特養ホームの建設を希望します。
- 全体的に何においても福祉に関する知識と理解がまずなければ前に進めない行動に移せないと思います。本格的に自分の生活がいっぱいで考えていても行動にならないのが現実です。
- 福祉サービスを知らない人がたくさんいます。積極的に利用できるようにお願いします。
- 月に1回2回くらいは高齢者、障がい者の家を周って欲しい
- まだ、わからない
- それぞれの分野で活動をしていると思うが、バラバラになっていると思う。もっと連携を深め、福祉のまちづくりをして欲しい。
- 提言した所でこの意見が反映されると思っていない。現にこのようなアンケートに似たものが町のアンケートとして回答したことがあるが、特にどこが何か変わったとはとても思えない。この様なアンケートの結果を今後どの様な形で運営されていくのかという将来的なビジョンが全く見えない。
- 今後高齢者ばかりの町内ですが、自治会の役割が大事と考えますがマンネリ化した自治会です。役員等10年も変わらず次の後任者が育たず色々な意見等も発言できる体制を作ることが大事だと考えます。50年住んでいますが高齢者にも変化なしです。
- 優先順位をきめて取り組みが必要と思う
- 高齢化が進み、家から外出するすべが限定される為、気軽に出かける様に交通機関(バス、タクシー)の助成支援
- 人手不足が深刻の中、それだけの人員がいないと無理だと思います。自治会も高齢者ばかりで高齢者同士で面倒を見ているが、これも仕方がないと思います。
- 生活支援ハウスの入居要件を満たせない方々(介護や医療が必要)が暮らす事が出来る施設を。
- シャトルの検討を
- 地域福祉の目的は住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を送ること、住民と行政の協働による支え合い(共助)が必要です。
- 高齢者が安心して暮せる施設の整備充実
- 介護療養院制度に早急に対応を

- ・町での福祉サービスはいろいろありますが、町民、特に高齢者は大まかな事しか知らないのでは？と思う事があります。介護認定を受けたら介護保険内ではこんなことが出来るとか、保険外でもこんな事ができるとか。安く利用できる用具を、知らないで定価で自分で買って後で知るとかまだまだそんな話を聞きます。税金の問題もあって積極的に周知しないのかな？と思います。その分情報も少ないかと思うので、普段のちょっとした疑問を問い合わせてもらって(そこは広く周知)インターネットで調べてあげるようなサービスはどうかなと思いました。この商品はどこで手に入るか、この症状はどここの病院へ行けばよいか、一番近い消費生活相談所は？日常生活での困った時の解決方法等々、特に高齢者を積極的に支援したい気持ちですが、個人情報も知る事になるだろうから、それは嫌だなと何もしないで考えます。
- ・各自治会に1か所ずつ、集まれる場所があればいい。サロンができて、入っていけない人もいるのでは？数か所でもあれば、行きやすくなるのでは？
- ・高齢社会の今、高齢者対策の充実(施設など(特養))
- ・本当に助けを必要としている人は、見えにくいという感じがします。(声を上げにくい)、行政だけのサービスに頼るのは限界があり、やはり地域とおしての繋がりが必要なのだと思います。一人暮らしのお年寄り、見守りボランティアなど必要だと思います。
- ・公共施設のバリアフリー化(役場の玄関のスロープは急すぎて使用できないのでは?)病院にキッズスペースが無いのはなぜ?また、興部に小児科医が来ないのはなぜ?雄武は旭川医大から週1で来ています。
- ・意思疎通、病院、幼稚園、保育所、社協、全てにおいて情報が繋がっていない事が多い。各々の場所で違う事を言われると混乱する。
- ・子供たちへの見守り活動をもっと充実してほしい。
- ・1人で住んでいる高齢者が多いので月1~2程度で家庭訪問し安否の確認をしてみては?(ヘルパーさんを使用していない高齢者の方もいると思います。)
- ・紋別はボランティアに参加すると特典がありますよ。子供じゃないけど、褒美やポイントが貰えることでやる気ができるのでは? やってもらう事ばかり考えるのやめた方がいいのではないですか?なんでもやってもらえると思ったらいいですよ!頑張って良い地域にしてください。
- ・わかりません
- ・高齢化が進んでいる中、子育て世帯と高齢者が協力し合える町になればなあと思います。高齢者が培ってきた経験と体験を若い人に伝え、若い人は高齢者が不便だと感じる場面で手助けができればいいと思います。その為普段から交流してより良い関係を築きたいです。

問29.興部町社会福祉協議会に対するご意見はありますか。ご自由にお書きください。

- ・いろいろな福祉事業等考えていただく事に感謝しています。田舎町として人員が少なくなる中、大変な事とは思いますが、この町を自分たちのすべてと考える者がいる限り頑張っていたきたいと思っています。高齢者が元気で過ごすことが出来ますよう願っております。
- ・個人情報保護といいながらこの様な回収の方法には問題があります。個々の封筒を用意するなりもっと慎重に対応すべきと思います。
- ・今まで、自分の生活で精一杯で、地域福祉の事を考えることもありませんでした。これを機に高齢者となっていく自分を含めて「豊かさ」を考えて行こうと思います。
- ・複数の理事の方から各々別の日に聞いた事ですが、理事会での話し合いは全会一致でない事もあるとの話を聞いたのですがどうなのですか?時々事務局が強引な事があるとか?本当ですか?そんな事は無いと信じていますが、その様な話を私たちの耳に入れるような理事は問題では?それとも事務局が問題なの?どちらでも私達町民にとっては大問題ですよ。

- ・「住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮すことができる地域福祉の実現」を目指しています(「新・社会福祉協議会基本要項」)。代表的な4つの部門は、地域住民の生活を具体的に支えることであり、民間活力が望めないこの地域では、地域福祉を担う社協が一定の責任を負って、担っていかねばならない部門と考えます。
法人本部 : 事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行なうための組織管理
地域福祉活動推進部門 : 住民参加による地域福祉の推進、福祉のまちづくり推進、ボランティア活動, 市民活動推進
福祉サービス利用支援部門 : 地域福祉サービス利用者支援
在宅福祉サービス部門 : 介護保険制度、障害者総合支援法、その他の福祉サービスの実施(制度、自主)
- ・質問に現状とそぐわない部分があるので具体的に単的な質問が望ましい。2.形式的な内容となっているが具体的な設問が解りやすい。3.アンケートの結果をどう生かすかが、今後の課題だと思う。
- ・町の規模を考えると充実した組織と思います。職員一人ひとりの士気向上と務め、働きやすい環境づくりが大切ですので、是非その様に心掛けるとともに、対象となる方々のニーズを拾い、興部町の発展と存続に務めて下さい。
- ・協議会として受け身ではなく、色々な事を行って欲しい。このアンケートになにを望むのですか。
- ・日夜福祉業務遂行の為ご苦勞いただいている関係各位に対し心からお礼を申し上げます。最近感じる事が2点ほどあります。1つ目は親族間の絆が失われつつあること。2つ目は地域住民間の絆づくりが大事になってきていること、この事については、ここ興部ばかりではなくその傾向があります。ぜひに福祉意識を高めるための広報活動、啓発の強化を計っていただきたい。それからもう一点、社協だよりが発行されており期待に見せて頂いていますが、とてもきめ細かく写真入りで色々な行事も掲載され、私にとっては大変貴重な誌面であり、できるだけ保存したく思い、別なところに保管しては不明なることから、できれば興部広報おこっぺの様にファイル出来るようそんな立派な物でなくても良いので配慮ねがいます。
- ・現在のところは良くなっていると思う。もう少し話し合いを行う事なのではないか。
- ・町民以下、全職員様にこのアンケートを実施、具体的、お答えを十分に得られそう大多数の職員様は、大学専門校を出て職務に当たってます。更に、読み書きの所も多くあり一般町民には困難です。
※町民、きらり、教育委員会などに加えて病院職員も全員の協力を受けることに然り広範囲の視野から大きな項目も得られます。＝高齢者が前回も、この回答は無理
昭和40年頃は、町の人口8,000人以上もありました。当時町職員は現在の3分の1以下でした。当然学校給食も介護ありません。今後、福祉事業をより積極的に実施には町民負担が大きな問題になりそう。何より管内、道内でこのモデルありました時は町民に対して紹介を早く行うべきだと思います。
- ・いまは私60代なので、これから先の事は自分の体になってみないと、わかりません。
興部町の福祉施設に対し人間的なことは、人がそれぞれ性格上ありますので仕方ありませんが、町民に対しての受付応えや相談が町民方からの話を耳にしますが、あまり人間関係よくない、福祉係の人のしんせつぎみがよくないことを耳にしました。これからはもっとよくして頂きたいです。全職員の対応が悪いとゆうことです。
- ・社協は福祉の要です。頑張ってください。もっと行政に強い立場であってよいと思います。
- ・この先、自分もサービスを利用するかもしれない、でも、社協(きらり)全体を知り尽くしてはいないがゆえ、人伝いにきくのではダメなので実情を知らねばと思います。
- ・前に、NHKスペシャルで健康寿命と読書に関連があるという話をしていた。図書館と連携をして何かできないか(図書サロンなど)。
- ・アンケート結果を活かしてください
- ・「興部社協だより」について社協の各種事業、活動等の情報を住民に提供する手段の一つと思うので、①回数を増やして、②内容を整理して(細かすぎる)、③楽しみに待っている広報紙としてほしい。
- ・社協の活動があまり見られない。デイサービス、ヘルパー事業、給食サービスは行なっている様だが、その他の活動は行なっているだろうか？町民みんなが安心していつまでも興部町に住んでいたいと思えるよう、社会福祉協議会は活動を充実して行って欲しいと思います。

- ・アンケートに協力をしたのだから今後どのような形で生かしていくのかというビジョンや、今回のアンケート結果を町民がどの様に考えているという報告がないとアンケートも無駄になると思うのでしっかりやって欲しい。
- ・身内死亡時に、半強制的に納めなければならない社会福祉協議会へ、金一封という習わしをやめてもらえないでしょうか。それと、赤い羽根募金や歳末たすけあい募金のお金の使い道に、必ず人件費がありますが集める人たちは、ボランティア(無給)で必死にやっているのに、それにかかわるときだけでも無給でやれないものでしょうか。
- ・継続ある事業計画を考えてほしい
- ・行政と共に協力し、実践していくこれが大切だと思う。
- ・興部町社会福祉協議会の活動を拝見すると内容が縦割行政になっており、役場との横の繋がりがなく、活動が偏っています。個人情報保護法があり、特にプライバシーに関する情報は、役場住民課の協力体制が必要不可欠と考えます。
- ・問い17の中で社協の仕事が多すぎているように思います。役場の下請けがこれからも増えると思いますが、将来的には役場がする仕事は役場がしないと社協が大変ですよ。本来の社協の仕事が十分できなくなると思います。役場がずるい社協の方々頑張ってください応援しています。
- ・重複しての回答は必要なのでしょうか
- ・高齢であるし、足腰が不自由であるためこれからの生活の不安もあるため困った時の手助け、援助が必要になればお願いしたいです。
- ・今後高齢化が進むと思いますが介護の度合いにあった施設の充実をお願いします。
- ・病院行のバスは、必要だと思うけど、決まった曜日に来ていますが、乗る年寄りがいない日も部落を周っているのでは燃料がもったいないと思います。
- ・アンケートも良いですが、町民の中へ出向いて直接聞いて見て下さい。
- ・年号が令和に代わり人生100年時代いわれる中、少子高齢化の現象は明確化している。本町の福祉行政は管内でも最低でしょう。高齢者が安心して暮せる充実した施設(老人ホーム、医療介護等)の整備を望む。
- ・この様なアンケートはお年寄りには字も小さく大変なのではないでしょうか。
- ・いつもお世話になっています。興部は小さい町なので、何かトラブルがあるとそれが理由で、きりりへ行きたくないと思ってしまいます。例えば、この保健師さんが苦手だから、など。社協の改革はとても良い事だと思いますが、まずは、取り組む人々の意識ではないでしょうか？意識の高さがよりよいサービスの向上を生むと私は思います。
- ・今回のアンケートについては協力しましたが無記名とはいえ、班長さん、自治会会長さんに直接手渡しというのは、個人情報保護に欠いていると感じます。個々に封筒なりもう少し違った形で考えて欲しいです。
- ・興部町福祉は、約3分の2は社協が行なっているとと言っても過言ではない。これからも町民の期待を一身に集めて頑張ってください。
- ・常日頃から何かとお世話になっております。これからもどうぞよろしくをお願いします。
- ・高齢者の病院等への送迎を何とかして欲しい。バスも少なすぎると思います。